

関東圏専門工事業担い手確保・ 育成推進協議会（夢協）の活動について

【資料1～6】

～若者が夢と希望を描ける専門工事業を目指して～

- (1) 技能労働者の処遇改善のための具体的取組について
 - 民間発注者・元請団体に対する要請活動について・・・（資料1）
- (2) 建設産業の魅力の発信の強化について
 - 夢協家族現場見学会の開催結果等について・・・（資料2）
- (3) 技能労働者が夢や希望を描ける社会の実現について
 - 夢協若者講習会の開催結果等について・・・（資料3）
 - 夢協職長講習会の開催結果等について・・・（資料4）
 - 建設労働者緊急育成支援事業の実施報告等について・・・（資料5）
- (4) その他
 - 今後のスケジュール（案）・・・（資料6）

関東圏専門工事業担い手確保・育成推進協議会について

～「YUME-KYO」夢や希望を描ける専門工事業を目指して～

1. 関東圏専門工事業担い手確保・育成推進協議会とは

関東地方整備局管内（東京都、栃木県、茨城県、千葉県、埼玉県、群馬県、神奈川県、長野県、山梨県の一都八県）において、建設産業専門団体関東地区連合会に加盟する専門工事業団体等が、現場で直接施工に携わる**技能労働者（担い手）の確保・育成を効果的に進める**ため、建設業の魅力を発信し、入職促進を図るなどの目的で設立する協議会。

※行政機関はオブザーバーとして参加

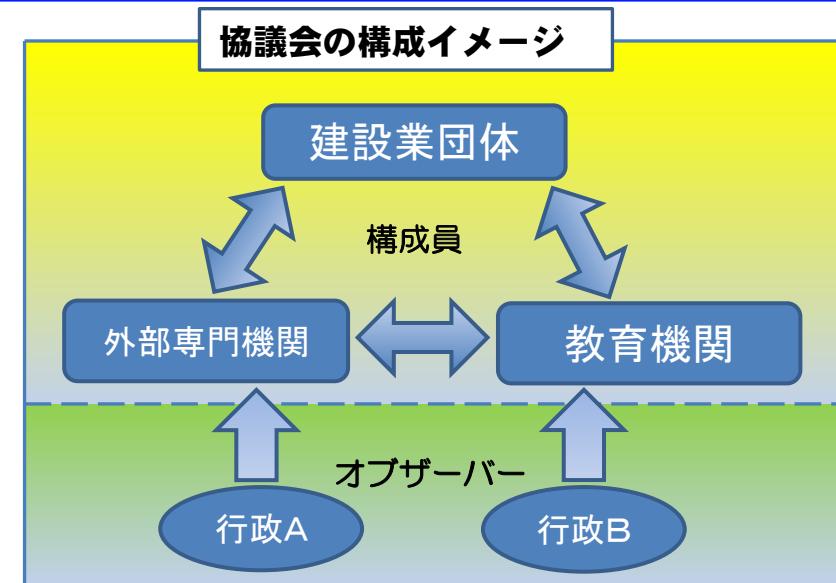
2. 協議会の構成員

（構成員）

- 建設産業専門団体関東地区連合会
- 教育機関（工業高校、普通高校）
- （職）全国建設産業教育訓練協会 富士教育訓練センター
- （一財）建設業振興基金

（オブザーバー）

- 国土交通省（本省・関東地方整備局）
- 厚生労働省（本省・埼玉労働局）
- 建設産業専門団体連合会



3. 活動方針

①技能労働者の処遇改善のための具体的取組

- ・民間発注者に対する要請活動
- ・元請団体に対する要請活動
- ・専門工事業として取り組むべき方策の検討

②建設産業の魅力を発信の強化

- ・工業高校生を中心とした現場見学会等への積極的参加
- ・出前講座の実施
- ・小中学校をターゲットとした「施工体験」「インフラ教育等」

③技能労働者が夢や希望を描ける社会の実現

- ・入職及び定着のための事業実施
- ・技能労働者の育成のための事業実施
- ・専門工事業ごとの技能労働者キャリアアップ作成

活動案の一例：学生現場見学会イメージ



出典：川崎国道事務所HP



出典：群馬県

関東圏専門工事業担い手確保・育成推進協議会 Y U M E - K Y O 出席者名簿

(委 員)

埼玉県立大宮工業高校 校長

埼玉県立上尾橘高校 校長

(職)全国建設産業教育訓練協会富士教育訓練センター 東京事務所長

(一社)日本機械土工協会関東支部 支部長

東京建設躯体工業協同組合 副理事長

(一社)日本塗装工業会 理事

(一財)建設業振興基金 専門役

(一財)建設業振興基金 専門役

(一社)日本機械土工協会 常務理事・事務局長

(一社)全国クレーン建設業協会東京支部 支部長

(一社)日本左官業組合連合会関東ブロック会 副会長

関東建設インテリア事業協同組合 副理事長

(オブザーバー)

厚生労働省職業安定局雇用開発部雇用開発企画課建設・港湾対策室

厚生労働省埼玉労働局職業安定部職業安定課

国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課

国土交通省関東地方整備局建政部

(一社)建設産業専門団体連合会

関東圏専門工事業担い手確保・育成推進協議会 設置要領

(名称)

第1条 本会は、関東圏専門工事業担い手確保・育成推進協議会と称する。また、通称として「YUME-KYO」または「夢協」（以下「夢協」という。）と称する。

(目的)

第2条 夢協は、関東地区（東京都、栃木県、茨城県、千葉県、埼玉県、群馬県、神奈川県、長野県、山梨県の一都八県）において、建設産業専門団体関東地区連合会（以下「関東建専連」という。）に加盟する専門工事業団体等が、現場で直接施工に携わる建設技能労働者（担い手）の確保・育成を効果的に進めるため、建設業の魅力を発信し、入職促進を図るなどの目的で設立する協議会とする。

(活動内容)

第3条 夢協は、前条の目的を達成するため、次の事項について連絡調整を行うとともに取組の強化を図る。

- 1 毎年度の活動計画の作成及びその実施
- 2 活動計画を進める上での課題に関する意見交換
- 3 毎年度の実施状況のとりまとめ
- 4 取組状況の情報共有及び意見交換
- 5 行政機関等への周知及び啓発
- 6 その他前条の目的を達成するために必要な事項

(構成)

第4条 夢協は、次に掲げる委員をもって構成する。

関東建専連役員

工業高校代表者

普通科高校代表者

（職）全国建設産業教育訓練協会富士教育訓練センター

（一財）建設業振興基金

(会長の職務)

第5条 夢協に会長及び副会長を置く。
2 会長は、関東建専連の会長とする。
3 会長は、夢協を代表し、運営を統括する。
4 会長は、副会長を指名することができる。

(副会長)

第6条 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。
2 副会長の任期は1会計年度とする。ただし、再任は妨げない。

(夢協の召集)

第7条 夢協の招集は、会長が行う。
2 夢協は、会長が議長を務める。
3 委員は、指名した者を代理として会議に出席させることができる。
4 会長は、必要がある時は、委員以外の者の出席を求めることができる。

(事務局)

第8条 夢協の事務局は、関東建専連事務局とする。
2 事務局は、夢協で決定された方針に基づき、国土交通省関東地方整備局建政部の協力を得てその運営を行う。

(雑則)

第9条 この要領に定めるもののほか、夢協の運営に関し必要な事項は会長が定める。

(附則)

この要領は、平成27年8月3日から施行する。

民間発注者団体、元請団体への訪問要請の報告について……資料1

①民間発注者団体・元請団体に対する要請活動

平成27年度に、民間発注団体、元請団体に対し、担い手確保・育成のため、適正工期、賃金確保等に係る要請活動を行った。この結果、(公社)日本建築士会連合会より、建築士の専門工事業に係る理解を深めるため、会誌『建築士』に各団体の紹介ページを設けていただくこととなった。

本年度は、機械土工、躯体、鉄筋、型枠、左官、塗装、造園を掲載していただくこととなっており、建物が建つ順番に掲載いただくこととなっている。

なお、(公社)建築士会連合会からのご依頼については、次ページのとおりである。

○要請日時 平成27年12月3日(木)9:30～15:00
○記者発表 " 15:30

○訪問団体 ②(一社)日本建築士事務所協会連合会
③(公社)日本建築積算協会
④(公社)日本建築士会
民間発注者団体
①(一社)不動産協会
連合会
⑤(一社)住宅生産団体連合会

元請団体
①(一社)日本建設業連合会
②(一社)全国建設業協会
③(一社)全国中小建設業協会

○訪問者
・夢協会長
・夢協副会長
・関東建専連 常務理事 他

○提出書類
要望書、夢協設立趣意書・名簿、関東建専連名簿等

H27.12.4 建設通信新聞

建設産業専門団体関東地区連合会(関東建専連、向井敏雄会長)の「関東圏専門工事業担い手確保・育成推進協議会」(通称・YUMEMEIKYO、夢協)は3日、民間発注者団体、総合工事業団体に対し適正な工期・賃金水準などの要望活動を実施した。今回の団体訪問で向井会長らは「ものづくりの担い手である技能労働者が少なくなっていることへの危機感を共有し、人材の確保・育成に建設業界一体となって取り組んでいけることを実感した」と話している。



夢協、関東建専連の向井会長(左)

向井会長は、東京都千代田区のホテルグランドパレスで会見し「各団体とも担い手確保を非常に深く認識している。業種の垣根なく、一体となって取り組んでいける」と手応えを口にした。その上で「適正な工期の確保は、発注者の理解がなければ達成し得ない。他産業以上の労働条件を提示できなければ若年者は集まらない」と強い危機意識を持って引き続き活動に取り組む姿勢を示した。

岸田敏弘副会長は、「担い手確保という目標に一致団結して取り組んでいく」とし、武居宏副会長は「目標から具体的なビジョンに形を移し、建設業に勤めて良かったと思えるようにしたい」とそれぞれコメントした。

▽要望活動で訪問したのは、▽日本建設業連合会▽全国建設業協会▽全国中小建設業協会▽不動産協会▽日本建築士事務所協会連合会▽日本建築積算協会▽日本建築士会連合会▽住宅生産団体連合会――の8団体。

夢協の来年度の取り組みとしては、若年者に対して入職後のイメージを持ってもらうためのライフステージプランの具体的な提示などを計画している。

夢協は、国土交通省関東地方整備局管内で、専門工事業団体が担い手確保・育成を効果的に推進するため、関東建専連のほか、全国建設産業教育訓練協会富士教育訓練センター、高校など教育機関、建設業振興基金などが連携して活動している。オブザーバーとして国土交通省、関東整備局、厚生労働省、埼玉労働局、建設産業専門団体連合会が参加している。

夢協 民間・元請団体に要望 適正工期、賃金確保

(公社)日本建築士会連合会からの依頼文

平成28年7月4日

建設産業専門団体関東地区連合会
会員団体長 様

公益社団法人 日本建築士会連合会
会誌編集委員長 岡田 義治
編集部会長 片山 和俊

会誌「建築士」連載企画 原稿ご依頼
「知ってほしい建築を支える専門工事業技術」(仮)

平素は本会の各種事業活動につきまして格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたびは、本会会誌「建築士」の連載講座の企画にご理解を頂戴いたしまして、大変ありがとうございました。

つきましては、本会会誌「建築士」に、下記の要領によりご執筆を賜りたくお願い申し上げます。

ご多忙の折、誠に恐縮に存じますが、何卒よろしくお願い申し上げます。
記

掲載誌:「建築士」平成28年(掲載開始月は未定)

原稿:「知ってほしい建築を支える専門工事業技術」(仮題)につきまして、連載の原稿ご執筆をお願いいたしますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

読者は、一級、二級、木造建築士の資格者を対象としておりますが、なるべく平易な文章にて解説していただきますよう、ご執筆のお願いを申し上げます次第です。

なお、毎月の内容やテーマ等の変更につきましては、ご提案いただきました内容でご一任申し上げますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

掲載案:(全頁カラー)掲載順は未定 1)~3)は原稿到着済み

1)(一社)日本機械土工協会「土工事のこれから広まる技術」(仮)

2)(一社)日本型枠工事業協会「化粧打放型枠」(仮)

3)東京都鉄筋業協同組合「鉄筋工事業」(仮)

4)東京躯体工業協同組合

5)(一社)日本左官業組合連合会関東ブロック会

6)(一社)日本塗装工業会

7)(一社)日本造園組合連合会

※1:4)~7)の原稿をご用意ください。

※2:各回の執筆者が異なるため、全ての原稿が揃った時点で本会の編集担当が連載として全回の原稿を整えたうえで、連載のスタートとさせていただきます。

(公社)日本建築士会連合会からの依頼文

送付原稿について

1. 原稿内容: 内容についてはご一任いたします。
2. タイトル: 連載講座「知ってほしい建築を支える専門工事業技術」(仮) 個々の回にサブタイトルを付けてください。
3. 字 数: 1回(4頁分) 字 数:
 - ①本文5,000字程度(小見出し含む)+写真もしくは図版 合計7点程度(キャプション付き)
 - ②執筆者様の顔写真 + 略歴100字~130字
4. 図・写真: 図や写真はデジタルデータでお送りください。また、執筆者の上半身写真(顔写真)1枚をお願いします。
 - ・写真のクレジットが必要なものは、お書き添えください。原則として写真は許可なく本誌に掲載できるものをお送りください。雑誌印刷のため解像度の高い状態をお願いします。
 - ・写真や図は、レイアウト例としてワード等に原稿と一緒に貼り付けていただいても結構です。別途データ(写真・図)としてお送りください。
5. ご送付物: 1)原稿(目次案をご覧ください)
2)題名: タイトル及び 著者名
3)原稿の末尾に、①お名前,②勤務先名及び役職
原則、原稿は可能な限りメールでのご送付をお願いしております。
6. 締切り: 掲載案 4)~7)の原稿が揃い次第、可能な限り早い号からスタートします。

7. 送付先: 〒110-0015
東京都台東区東上野5-1-8 上野富士ビル9F
一般社団法人日本機械土工協会
電話:03-3845-2727 Fax:03-3845-6556

8. 送付アドレス: shimizu-jemca@nifty.com

ご多忙中、誠に恐縮に存じますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

親子現場見学会の開催について……資料2

高校へ進学する時点で既に生徒自身が将来の方向性を決めていることが多いため、まずは生徒が自分の方向性を固める前の小中生への魅力発信が必要である。

また、父兄等が子供の就職に関与することが多く見受けられるため、父兄等に対しても建設業の魅力を発信していくことが必要である。以上を踏まえ、夢協では親子参加型の見学会等を開催することとする。

本年度は、平成28年8月2日(火)に、日本キャタピラー(キャタピラーイーストジャパン株)が秩父デモセンターにおいて開催している『夏休み・ちびっこ建機フェア』に後援した。

参加者約150名は、「デモンストレーション」、「ミニショベルとの綱引き」、「現車見学及び写真撮影」を行った。なお、開催内容は以下のとおりである。



夏休み・ちびっこ建機フェア2016
☆タイム・スケジュール☆

13:00	開場・受付開始
13:15～13:25	スケジュール・施設案内・注意事項
13:30～14:00	子供向デモンストレーション(観覧席)
14:15～14:30	綱引き(工場前)
14:30～15:30	機械の見学・写真撮影(工場前)
16:00	終了

CATERPILLAR®

親子現場見学会風景



親子現場見学会風景



日本キヤタピラーが ちびっこ建機フェア

夢協が後援

日本キヤタピラー(中)「ちびっこ建機フェア2011野区」は2日、「夏休み・ちびっこ」を開いた。関東圏専門

工事業担い手確保・育成推進協議会(夢協)向井敏雄会長)が後援し、フェアに参加した小学生らに建設機械や建設業の魅力をアピールした。参加した子どもたちは、間近で見学、触ることができた。

設機械の動きや迫力に大きな歓声を上げていた。

フェアは秩父ビクターセンターで毎年開催。夏休み中に一般の親子対象に4回実施し、うち1回を親子現場見学会として夢協が後援。

参加者は小学生とその親など約150人。国土交通省関東地方整備局の須田健介建設産業調整官は「安心して暮らす地域をつくるのが建設業の仕事。建設機械がどんな役割をするのか見学してほしい」と呼び掛けた。フェアでは、建機を使用したパフォーマンスを行った。

「アモンストレーション」や「ミニ油圧ショベル」などを行った。

児童から歓声

第三松江小で夏休み現場見学会

江戸川区立第三松江小学校の改築工事を施工中のナカノフドー・イチタミ・山内建設共同企業体は、同小の5年生約30人を招待して夏休み現場見学会を開いた。

子どもたちはクイズ形式で学校の構造や作業工程を学んだ上で、施工中の校舎を見学。工事用エレベーターで鉄筋がむき出しの最上階へ移動し、新しい教室となる場所で鉄筋工や型枠工らに話を聞いた。その後、現場作業員らとコンクリートで学校名が入ったレリーフを作る体験を行った。

若者講習会の開催結果等について……資料3

入職促進活動を展開しても、入職後数年で退職してしまっは元も子もない。若年者労働者の処遇改善等による入職促進だけでなく、「定着促進」も同時に進めていく必要がある。

このため、「夢協若者講習会」を開催し、改めて建設業現況や役割等について講習するとともに、若手同士が将来の目標や夢を語り合った。

講習内容としては、国土交通省関東地方整備局鳴課長から、「建設業の現況について」と題し建設業の現況や国の施策の説明をいただいた後、アテネ五輪銀メダリスト長塚氏から、「オリンピックで夢を叶えるまで」と題し、チャレンジ精神とあきらめない前向きな気持ちで仕事に望むこと等について講演をいただいた。

その後、地下神殿と呼ばれる国土交通省関東地方整備局江戸川河川事務所『首都圏外郭放水路』を見学した。

【対象者】 概ね35歳以下
建設業界に入職してから概ね1～10年目の者など

【参加人員】 約40名

【開催日】 平成28年6月10日(金)

【開催場所】

《座学》 ホテルブリランテ武蔵野 埼玉県さいたま市中央区新都心2-2

《現場見学》 首都圏外郭放水路 埼玉県春日部市上金崎720

【講義内容】

《座学》 ・ 主催者挨拶 会長 向井 敏雄

・ 来賓挨拶 建設産業調整官 須田 健介 様

・ 講演:「建設業の現況について」

・ 講師:国土交通省関東地方整備局建設産業第一課長 嶋 直俊 様

・ 講演:「オリンピックで夢をかなえるまで」

・ 講師:元競輪選手・アテネ五輪銀メダリスト 長塚 智広 様

《現場研修》 ・ 流域の洪水を軽減する首都圏外郭放水路の概要について、ビデオ・模型等を使って解説

・ 「地下神殿」と呼ばれている巨大な調圧水槽の見学

若者講習会風景



首都圏外郭放水路の位置図



（首都圏外郭放水路 一般見学会のお知らせ）
 首都圏外郭放水路の一般見学会参加には、事前予約が必要です。お申込みは、外郭放水路見学会受付または江戸川河川事務所ホームページからお申込みください。

●電話受付
 TEL 048-747-0281
 受付時間：月～金曜日
 AM9:00～PM4:30

■首都圏外郭放水路管理支所（庄和排水機場2階）
 TEL 048-746-7524

■観望館（庄和排水機場内）
 開館時間 9:30～16:30（入館は16:00まで）
 休館日 月曜日/年末年始 入館無料
 〒344-0111 埼玉県春日部市上金崎720
 TEL 048-746-0748



東武野田線 南栗井駅下車徒歩30分（約2.2km）
 東北自動車道 岩槻ICから国道16号線を野田方面に直進30分（約17km）
 常磐自動車道 和光ICから国道16号線を野田方面に直進40分（約20km）

首都圏外郭放水路庄和排水機場は「関東の富士見百景」に選定されています。

「関東の富士見百景」は、富士山への良好な眺望を得られる地点を選定し、周辺の景観の保全や活用への支援を遂げて、美しい地域づくりの推進を目的として実施されたもので、「観望館」のある首都圏外郭放水路庄和排水機場は、その一つに選定されています。まちを代表する眺望ポイント「観望館」からは、さいたま新都心のビル群を前景に富士山を望むことが出来ます。



国土交通省関東地方整備局 江戸川河川事務所
 〒278-0005 千葉県野田市宮崎134 TEL. 04(7125)7311(代表)
 ホームページアドレス <http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa>

平成11年 4月
 平成24年 改訂版



首都圏外郭放水路

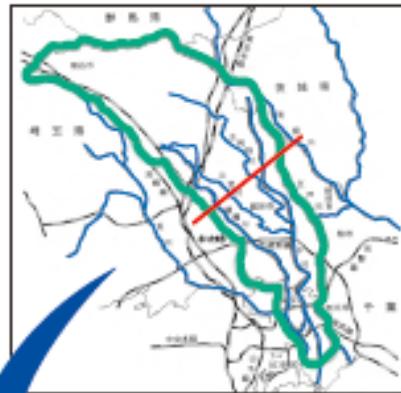
首都圏の安全・安心を守り続ける巨大地下放水路

彩龍の川

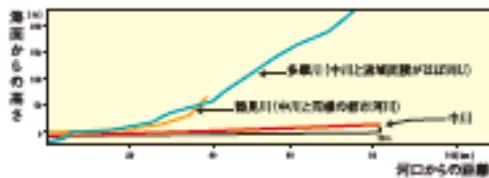
中川・綾瀬川流域は、なぜ大雨のたびに浸水被害を繰り返してきたの？

◆水がたまりやすい「皿」のような地形

中川流域は、かつて利根川、荒川が洪水のたびに流路を変え、昔から浸水被害に悩まされてきました。地形的にも利根川、江戸川、荒川の大川に囲まれ、水がたまりやすい皿のような地形になっています。さらに、河川の勾配がゆるやかで水が流れにくい特徴があり、ひとたび大雨に見舞われるとすぐには水位が下がらず、危険な状態が続いていました。



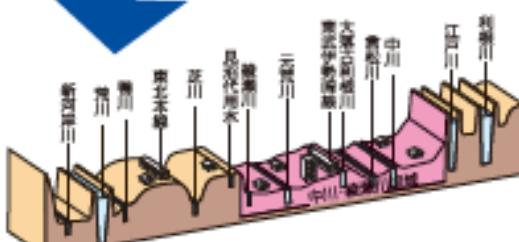
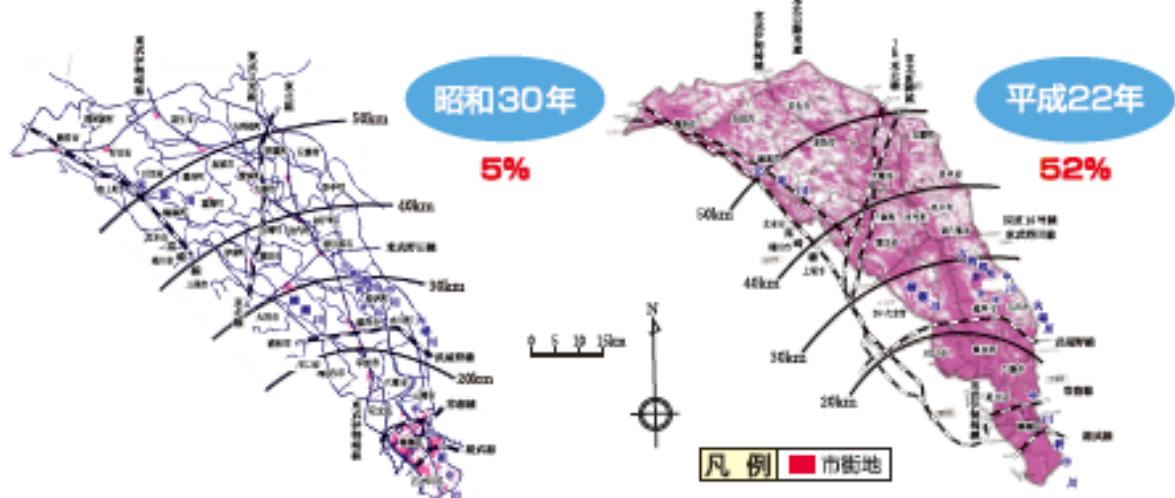
◆勾配が緩やかな中川・綾瀬川



◆急速に押し寄せてくる都市化の波

近年、首都圏のスプロール的開発(都市の無秩序な拡大)に伴い、下流域から浸水のおそれのある中、上流域へ人口・資産の集中が進んでいます。とくに東京から20~40km圏域の市街化率は50%近くに迫り、交通機関の整備、市街化整備計画と相まって、今後も中流域の開発は著しく進展するものと予想されています。

◆市街化が進んだ中川・綾瀬川流域



◆中川・綾瀬川流域土地利用の変遷



◆繰り返されてきた洪水被害

地盤が低く、水がたまりやすい地形。そして、急激な都市化により、洪水被害を防ぐための河川整備や下水道整備が追いつかず、これまでに幾度となく洪水被害を受けてきました。今後さらに都市化が進めば、過去とは比較できないほど甚大な被害を受けるおそれがあります。

◆近年の主要洪水一覧表

洪水年月	最高流量 (mm/48時間)	浸水戸数(戸)	浸水面積(㎡)
昭和33年8月25日洪水 (台風22号-台風24号)	282.0	41,544	27840
昭和37年8月10日洪水 (台風19号)	210.4	36,425	27690
昭和41年8月4日洪水 (台風10号)	196.6	22,962	6531
平成3年8月18日洪水 (台風18号)	186.5	31,431	9236
平成6年6月28日洪水 (台風11号)	180.4	15,977	6962
平成9年8月21日洪水 (台風17号)	152.4	2,825	2469
平成10年8月18日洪水 (台風9号)	126.8	239	700
平成11年8月14日洪水 (台風9号)	172.6	634	635
平成12年7月7日洪水 (台風3号)	159.5	826	1107
平成14年7月洪水 (台風9号)	163.8	69	46
平成18年10月8日洪水 (台風22号)	199.2	1,273	1029
平成19年12月26日洪水 (台風12号)	171.9	245	65
平成20年8月大雨 (集中豪雨)	124.8	2,108	574

※中川・綾瀬川流域早期浸水履歴 ※中川・綾瀬川流域における浸水家数及び浸水面積



昭和60年7月 新方川上流



昭和58年10月 八潮市浮家



昭和57年8月 草加市手代町

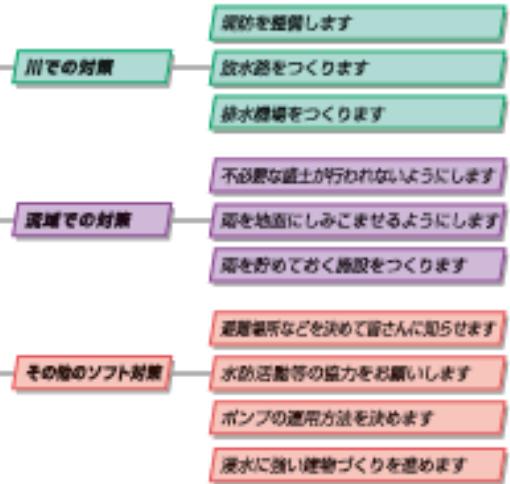


平成3年8月 岩槻市東岩槻 (湧きだしたま市街地区)

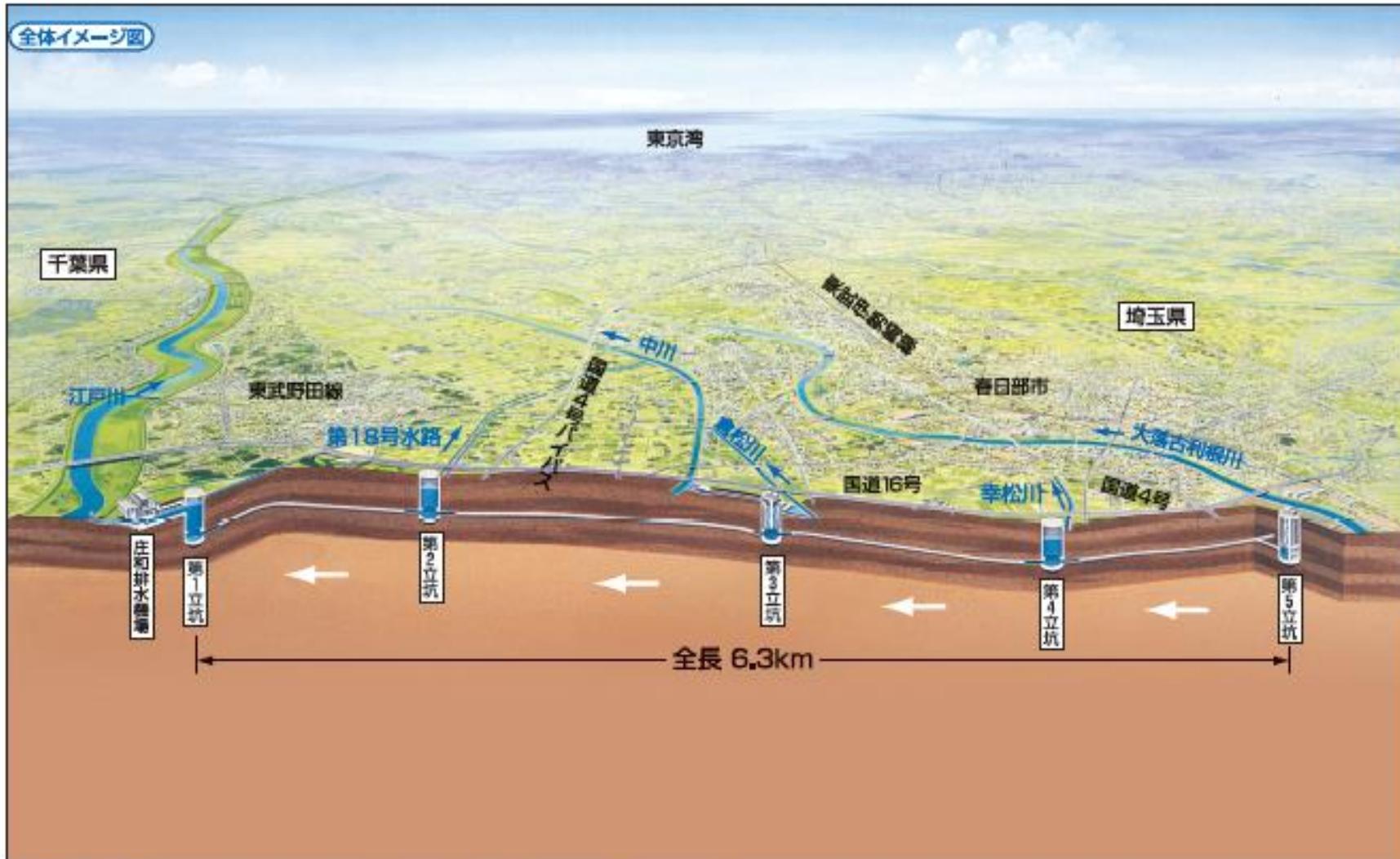
◆水害に強い街づくり「中川・綾瀬川総合治水対策」

水害から地域を守るためには、これまでの治水施設の整備に加え、地域が一体となって開発により損なわれた川本来の保水・遊水機能を取りもどし、雨水が一気に川へ流れ込むのを防ぐ流域対策が必要です。それが、流域全体が一丸となって取り組み、水害に強い街づくりを目指す「中川・綾瀬川総合治水対策」。なかでも、首都圏外放水路はその大きな柱として期待されています。

◆総合治水対策



地底50mを流れる世界最大級の地下放水路



首都圏外郭放水路は、中川、倉松川、大落古利根川など中小河川の洪水を地下に取り込み、地底50mを貫く総延長6.3kmのトンネルを通して江戸川に流す、世界最大級の地下放水路です。日本が世界に誇る最先端の土木技術を結集し、平成5年3月に工事に着手。およそ13年の歳月をかけて平成18年6月、大落古利根川から江戸川までの通水が可能になりました。



第5立坑（流入状況）



庄和排水機場



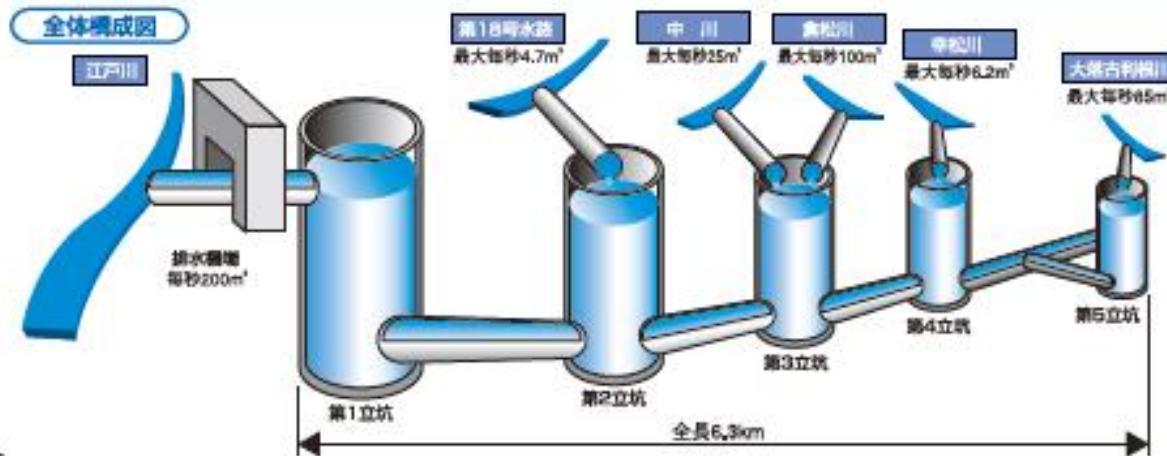
第2立坑



第1立坑



第4立坑（溢流槽）



第3立坑（流入状況）



調圧水槽

首都圏外郭放水路の主要施設

首都圏外郭放水路は、各河川から洪水を取り入れる「流入施設」と「立坑」、洪水を流下させる地下水路の「トンネル」、地下空間で水勢を弱め、スムーズな流れを確保する「調圧水槽」、そして

立坑

洪水流入と放水路の維持管理に活躍します。

第1～第5まで5つある「立坑」は、地下トンネルでつながっており、中川、倉松川、大落古利根川などから洪水を取り込む働きのほか、管理車両の搬入や換気設備の取り付けなど、外郭放水路の維持管理面で重要な役割を果たしています。深さ約70m、内径約30mもあり、スペースシャトルや自由の女神がすっぽり入る巨大な円筒状になっています。



第5立坑

立坑諸元

立坑	上部径	下部径	立坑深さ	施工方法
第1立坑			GL+72.1m	逆巻工法及び管壁工法
第2立坑	φ31.8m	φ30.0m	GL-71.5m	
第3立坑	壁厚2.5m	壁厚3.3m	GL-73.7m	
第4立坑	φ25.1m 壁厚2.0m	φ22.5m 壁厚2.3m	GL-68.0m	
第5立坑	φ15.0m 壁厚2.0m	φ15.0m 壁厚2.0m	GL+74.5m	

地下から洪水を排水する「排水機」と「排水管」などで構成されています。

流入施設

洪水時に「越流堤」から水を取り入れます。

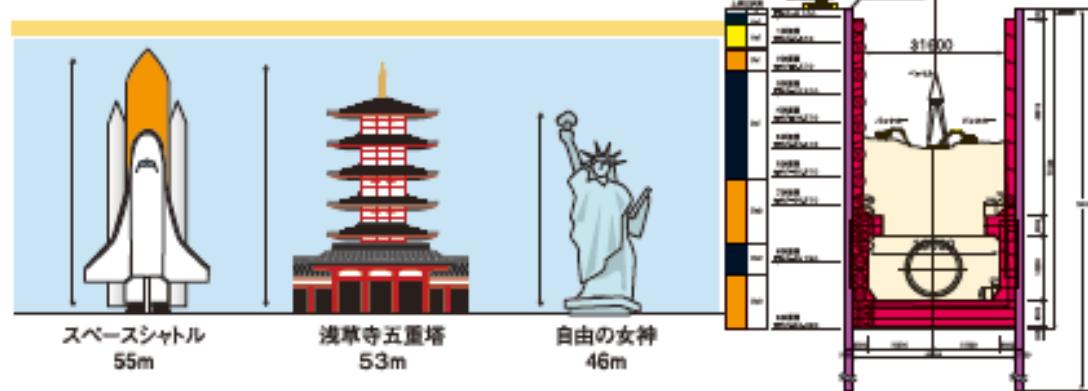
外郭放水路への洪水の取り込みは、中川、倉松川、大落古利根川など各河川の堤防に設けられた「越流堤」で行われ、河川の水位が上昇し越流堤の高さを超えると自然に流入施設に流れ込みます。越流堤の高さは周辺の最低地盤高と同程度としており、中小洪水でも十分機能するように配慮しています。



流入諸元

流入河川	流入量	越流堤高	計画量	流入方式
中川	26m ³ /s	17m	290m ³ /s	越流堤方式
倉松川	100m ³ /s	93m	100m ³ /s	
大落古利根川	95m ³ /s	33m	365m ³ /s	
1号水路	4.7m ³ /s	4.1m		
幸島川	6.2m ³ /s	9.0m		

立坑断面図(第2立坑)



本事業における新しい試み

第3立坑・第5立坑(流流式ドロップシャフト)

第3立坑では倉松川・中川の洪水を流入させるために、倉松川流入に流流式ドロップシャフトを採用しています。これは、立坑の流入口から立坑の底部に沿って水が流れ落ちるように、流入口の形を成形させ、60m近く落下する水の衝撃を緩和し、2つの河川の流入衝撃が交差して不具合が生じないように採用された構造です。この方式は第5立坑にも採用されています。



リサイクルの推進

従来、洪水トンネル工事の掘削土のうち、粘土の細かい二次処理土は産業廃棄物として扱われていましたが、平成9年の法律改正により必要な条件を満たせば再生利用が可能となり、本事業が平成10年7月23日に厚生大臣認定第1～2号、さらに10月1日には3号の認定を受けました。この工事での処理土は、江戸川(スノーバー)堤防の建設に利用されています。



トンネル

地下50m、全長6.3kmを流れる「地下の川」

中川、倉松川、大落古利根川などから流れ込んだ洪水を江戸川に流すためにつくられた「地下の川」です。5つの立坑を結ぶトンネルは国道16号の地下50mに延びており、内径約10m、全長6.3km、最大で毎秒200m³の洪水を流すことが可能です。

シールドトンネル

トンネル(地下河川)は、シールド工法を採用。

シールドトンネルとは

工事は大深度(地下50m)、大口径(トンネル内径10.6m)であることから密閉型泥水式シールド工法を採用しています。円筒状の鋼製の筒を地山に押しながら掘ってつくるトンネルをシールドトンネルといいます。鋼製の筒に掘削機を取り付け、前面の土砂を防護しながら掘削すると同時に、シールドマシンを前方に押し出します。押し出されたシールドマシンの背後では、「セグメント」を円筒状に自動で組み立て、順次この作業を繰り返して、トンネルを構築していきます。

第1立坑から第3立坑までの第1工区トンネルから第3工区トンネルまでは平成14年に、第3立坑から大落古利根川までの第4工区トンネルは平成16年に、第5立坑から第4工区トンネルまでの連絡トンネルは平成17年に貫通しました。

トンネル諸元

工区	掘進区間	掘進延長	トンネル内径
第1トンネル	第1立坑→第2立坑	1,396m	10.6m
第2トンネル	第2立坑→第3立坑	1,920m	10.6m
第3トンネル	第3立坑→第4立坑	1,384m	10.6m
第4トンネル	第4立坑→大落古利根川	1,235m	10.9m
連絡トンネル	第5立坑→第4トンネル	380m	6.5m



第4工区トンネル



シールドマシン

新しいセグメントの開発

首都圏外郭放水路は大口径の内水圧シールドトンネルで、新しい技術を取り入れて施工を行ってきました。セグメントについても施工性の向上を目指し、最新技術を使用した新規開発を行っています。

特徴

- ・内水圧対応……シールドの外圧ばかりでなく内圧に対しても安全
- ・内面平滑……流水に対応した凹凸の生じないセグメント
- ・高剛性……継ぎ手に「くさび構造」を用いてセグメントの結合力を高める
- ・高速自動組立……くさび効果による締結管理、補助作業の省略

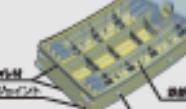
水平コッター式RCセグメント(第1工区トンネル)

リング掘削機で掘削した断面に、リング状のRCセグメントを組み立てます。



DRCセグメント(第4工区トンネル)

セグメント本体イメージ図



組立イメージ図



掘削機にRCセグメントが組み立てられ、セグメント組立機一時的に設置され、形成する空欄に掘削機をトンネル前方より挿入して、掘削する方式です。

首都圏外郭放水路の主要施設

排水施設

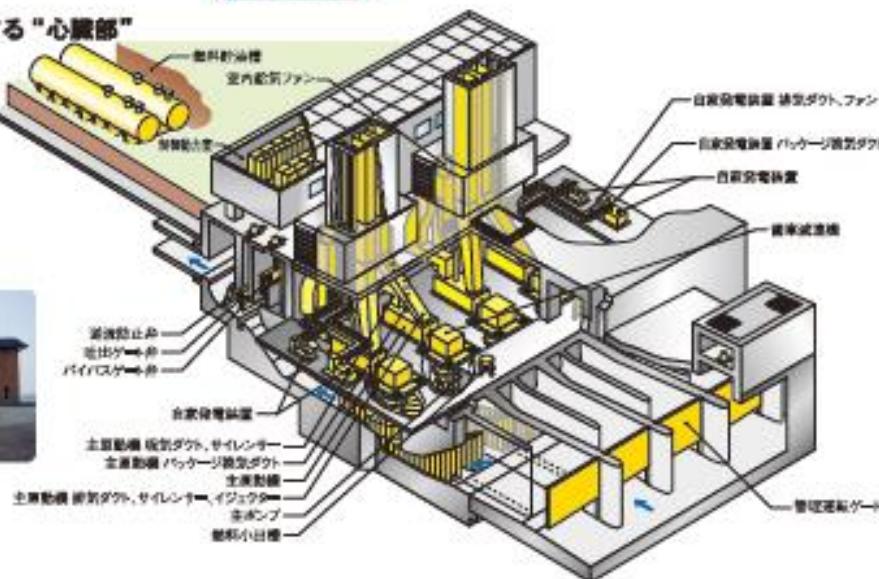
巨大施設をコントロールする“心臓部”

庄和排水機場は、地下トンネルを流下してきた洪水を調圧水槽から巨大ポンプ、排水暗管を経て江戸川へ排水する役割と、各流入施設の操作や集中監視する役割を持つ、首都圏外郭放水路の“心臓部”です。



庄和排水機場

電機設備概略図



排水ポンプ

諸元

1.設置場所

埼玉県春日部市上会館地先

2.排水ポンプ設備

①ポンプ諸元

- ・ポンプ形式 立軸渦巻斜流ポンプ(高流速型)
- ・計画排水量 毎秒50m³(1台当たり)
- ・計画全揚程 14m
- ・流量制御 ポンプ回転数による流量0~100%制御
- ・設置台数 4台

②原動機諸元

- ・原動機形式 二輪式横型ガスタービン(航空機転用形)
- ・定格出力 10300kW(14000PS)
- ・燃料 A重油

③減速機諸元

- ・減速機形式 直交軸歯車減速機(ロックドレーン構造)
- ・減速比 1/27.8

3.操作制御

- ・各設備の個別操作及び中央操作室における集中監視操作制御

1秒間に25mプール1杯分の水を排水。

国内最大級の排水量50m³/sを誇る巨大ポンプが4台あり、ガスタービンの動力を利用して「インペラ」と呼ばれる羽根車を高速回転させ、水にエネルギー(電力と遠心力)を与え流れをつくり出します。ガスタービンは航空機用に開発されたものを改造したもので、外形や騒音、振動が非常に小さいのが特徴。排水能力は最大で1秒間に200m³(25mプール1杯分)の水を排水することが可能です。



ポンプ室全景



減速機



減速機

調圧水槽

巨大空間は“地下神殿”

地下トンネルから流れてきた水の勢いを弱め、江戸川へスムーズに水を流すため、地下約22mの位置につくられた長さ177m、幅78m、高さ18mにおよぶ巨大水槽です。ポンプ運転を安定して行うための役割と、緊急停止時に発生する急激な水圧の変化の調整を行う役割を持っています。長さ7m、幅2m、高さ18m、重さ500t柱が59本もあり、水槽の天井を支えている光景は、まさに地下にそびえる地下神殿を思わせます。



排水暗管

洪水を江戸川へ排水します。



排水暗管1門には、JR山手線の車両「E231系」(幅2.95m/高さ3.98m)がらくらく収まる

首都圏外郭放水路から洪水を排水する施設です。排水機場でポンプによって取り上げられた洪水は、5.4m×4.2mの排水暗管6門を通り江戸川に流されます。また、江戸川からの逆流を防ぐ働きも担っています。

●世界も注目する首都圏外郭放水路

世界最大級の地下放水路が海外からも注目されています。

首都圏外郭放水路には、TV、新聞、映画、旅行情報誌、学校教材、webサイトなど、年間200件以上のメディア等が取材や撮影に訪れています。海外メディアからの取材も多く、施設見学会には海外の方も多数訪れています。

CNNでの紹介事例

CNNがニューヨークのハリケーン・サンディの報道に関連して、首都圏の洪水対策として首都圏外郭放水路を紹介(HDR.11.1)「How giant tunnels protect Tokyo from flood threat」



「地下の巨大構造物は、従来の自然災害に対処する新たな仕組みのヒントを与えてくれるかもしれない」と紹介されました。(報道時のコメントより抜粋)

●土木学会「平成14年度技術賞」を受賞!

首都圏外郭放水路事業は、(社)土木学会の「平成14年度技術賞」を受賞しています。技術賞は、土木技術の発展に顕著な功績をなした画期的なプロジェクトに対して贈られる賞で、以下の実績が評価されたものです。

- 新型セグメントの採用。
 - コスト削減のための2次施工用セグメントの採用、長距離施工、掘削土の高剛地盤への有効活用。
 - 排水機場のコンパクト化。
 - 開かれた工事現場を目的とし、各施設の完成時に約5,000人を集めたイベントを開催。また、約30,000人の一般住民が実際の工事現場を見学。
 - 平成14年8月に全体の約半区間で試験通水を行い、6箇所の洪水が流入した。試験通水区間の浸水面積は、平成11年洪水の98%、平成12年洪水の98%の減少が認められ、被害の低減効果を確認。
- 首都圏外郭放水路事業において、これらの地下河川技術の先進的デザイン、施工等が、今後の土木技術の発展に大きく寄与すると認められたものです。



首都圏外郭放水路の治水効果

中川・綾瀬川流域の浸水被害の軽減に 首都圏外郭放水路は大きな力を発揮しています。

首都圏外郭放水路は平成14年の部分通水から、平成25年3月時点で72回の洪水調節実績があります。試験通水による治水効果は目覚しく、中川・綾瀬川流域の浸水被害は大幅に軽減されています。

これまでの治水効果を見てみると、平成12年7月の台風3号に見舞われた際は、中川・綾瀬川流域で160mmの雨量を記録し、浸水面積約137ha、浸水家屋248戸におよぶ大きな被害を受けました。しかし、倉松川までの通水開始後に発生した平成16年10月の台風22号では199mmの雨量を記録しましたが、浸水面積は約72ha、浸水家屋は126戸と、浸水被害を大幅に軽減しました。

さらに、平成18年6月に大落古利根川までの通水が完了し、平成18年12月の低気圧による洪水では172mmの雨量を記

録しましたが、浸水面積は約33ha、浸水家屋は85戸と、浸水被害を更に軽減することができました。

さらに、過去最大の流入量を記録した平成20年8月の低気圧豪雨の際も、首都圏外郭放水路の稼働により約1,172万㎡の洪水調節を行い、浸水に悩まされていた流域の被害を確実に減らしました。

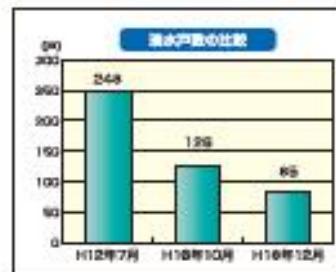
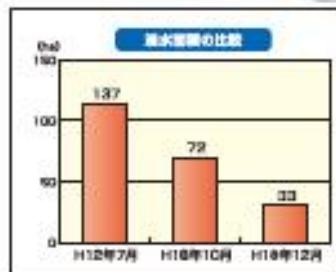
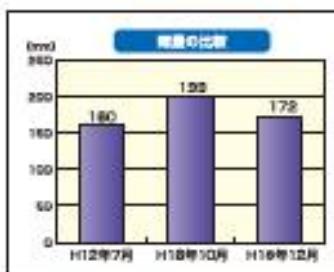
※浸水面積や浸水戸数については、首都圏外郭放水路の周辺地域7市町（春日部市、幸手市、毛呂町、宮代町、白岡町、利根町、五井町）のデータを集計



平成17年8月洪水時の流入状況(第3立坑)



この図は、中川・綾瀬川流域整備計画で想定している概ね10年に1度程度起こる雨(流域平均48時間雨量:217mm)による浸水被害の予想図です。中川・綾瀬川で総合治水対策協議会が決定した昭和55年と現在(H18)、そして将来の流域整備計画完成時点を想定して浸水箇所をシミュレーションしています。



地域と一体となった河川環境整備

水辺の丘運営協議会

「水辺の丘運営協議会」は、首都圏外郭放水路や庄和排水機場周辺を「水辺の丘」(地底空間・龍Q館・多目的広場・ログハウス・親水護岸・サイクリングロード)とし、春日部市(旧庄和町地区)の新たな地域文化資産として人々に未永く親しまれるための計画検討を協議する目的で発足しました。

計画検討にあたっては、地域の方々と常に情報を共有し公正で開かれた検討を進め、施設全体が地域の新たな文化と人々の交流の場となるよう、効果的な運営方法を模索してきました。外郭放水路というたぐい稀な地下施設の存在感を活かした地域振興のあり方を模索し、実際の運営に積極的な市民参加が得られるような運営とその支援の方法を検討しています。

●メンバー/国土交通省江戸川利根川事務所・春日部市・市民(市民団体)



首都圏外郭放水路地区探検ミュージアム「龍Q館」

「龍Q館」では、見えない地下で効果を発揮する首都圏外郭放水路の機能や役割を中心に、江戸川に関する事業や自然環境について展示・紹介を行っています。このほか、地域との連携を図った総合学習・生涯学習施設としての機能も備えています。



「龍Q館」本館の企画「龍Q館」のテーマは、所在地の春日部市(旧庄和町)にある「次女の森」伝説と、「AOUA(水)」にちなみです。平成18年のオープン時に、皆さんの声を聞いていたこと、これからの社会の発展に伴って生涯学習の拠点となる予定です。



●市民ギャラリー
江戸川と共に暮らし、歴史・文化・風土を育んできた市民のみさんの様々な文化活動の成果などを紹介しています。



●地底体験ホール
首都圏外郭放水路の知られざるパワーを、私たちがおもてなし。視点を変え、体験しよう。そして再発見するワークショップ・ステーション。周辺の小学校と連携した総合学習する首都圏外郭放水路の姿を光と音と映像で体験できます。



●マイタウン・マイライフ
私たちが住む町や川のことを、視点を変え、体験しよう。そして再発見するワークショップ・ステーション。周辺の小学校と連携した総合学習する首都圏外郭放水路の姿を光と音と映像で体験できます。



●テクノロジーBOX
地底を流れる世界最大級の人工河川「首都圏外郭放水路」の姿を光と音と映像で体験できます。

ふるさとの森づくり



2006年3月
(首都圏外郭放水路記念通水祭)



2010年7月
(自然観察会)

首都圏外郭放水路・庄和排水機場に「川の森」を整備し、緑のネットワークを構築することにより、人々に安らぎのある木陰の提供、風の通り道、防災スペースの確保、優れた景観の創出など多様な効果をもたらすことを目的に「ふるさとの森づくり」が行われています。

これまで、2006年と2007年の2回植樹が行われました。庄和排水機場には、25種類、合計25,000本の苗木が市民の手で植えられています。隣りあう苗木同士は、すべて種類が異なります。高木・亜高木を混ぜて植える(混植・密植)ことで樹木は、競争しながらも共生し、強くたくましく育ちます。そして豊かな森になり、多くの命を育みます。25種類の樹木は、庄和排水機場周辺の潜在自然植生の樹種群から選定されました。

「彩龍の川」が誕生!

「首都圏外郭放水路」の役割をイメージさせ、地域のみさんから愛され、親しまれる愛称を一般公募し、「彩龍の川」と名付けられました。

若者講習会アンケート結果

関東圏専門工事業担い手確保・育成推進協議会（夢協）

■Q3 今回の講演の感想をお聞かせください。また、若者講習会で行ってほしい講演のテーマなどがあれば、ご自由にお書きください。

夢協 平成 28 年若者講習会 アンケート結果

- 名称 平成 28 年若者講習会
- 開催日 2016 年 6 月 10 日（金）
- 参加人数 26 人
- 回答人数 26 人（回答率 100%）

■□■ アンケート結果 ■□■

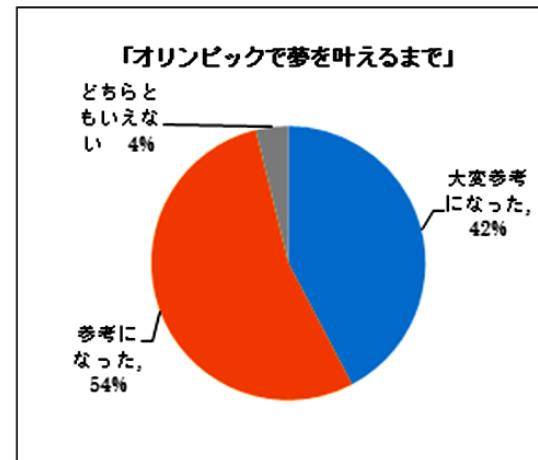
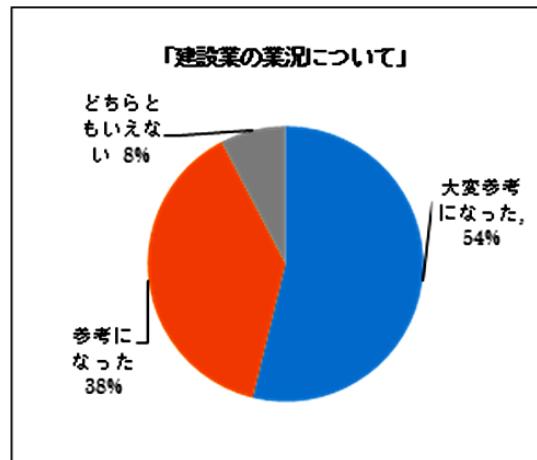
1. 講演について

■Q1 講演「建設業の業況について」は、皆さまがこれから仕事に携わる上での参考になりましたか？

大変参考になった	参考になった	どちらともいえない	参考にならなかった
14	10	2	0

■Q2 講演「オリンピックで夢を叶えるまで」は参考になりましたか？

大変参考になった	参考になった	どちらともいえない	参考にならなかった
11	14	1	0



【講演の感想】

- ・賃金や休日における、今後の方向性が聞けて参考になった
- ・建設業の現況が分かり、自分でも調べようと思いました
- ・会社の人に勧められるととてもいい講演でした
- ・長塚さんの考え方は日常に生かしたい
- ・今、自分たちの業界の現状が分かり大変参考になった
- ・「オリンピックで夢を叶えるまで」も興味深い話があり良かった
- ・参加者にネームプレートを着用させて、交流を深めてもらった方が良いと思います
- ・国交省の方の話が分かりやすく、とても良かったと思います
- ・仕事に対する姿勢を今一度見直してみようと思います
- ・将来を悲観せず前向きに取り組みます
- ・貴重な意見や様々な意識を吸収できました。ありがとうございました
- ・もっともっと若い人たちに建設業で働いてほしいと思った
- ・長塚さんの話が楽しかった
- ・今回の講習会で、自分が入った建設業について細かく知ることができて良かったです
- ・現状をとっても分かりやすく説明していただけた
- ・私も共感できる場所がありましたので、ご紹介の本を読んでみようと思います。本日はどうもありがとうございました
- ・入社 1～5 年の人に話す内容ではない気がする（建設業の業況について）、今回の話は代表取締役等に話す内容だった。今後はもっと良くしていく話の方がやる気が出る！
- ・スポーツとは離れて生活していましたが、内容が精神面のお話をされていて参考になりました
- ・このような会で講演を聞く機会がありますが、本日の長塚さんのように近い世代の方のお話を聞けることはなかったので貴重な時間を過ごせました
- ・「建設業の業況」について、とても興味深い話が聞けたので大変参考になりました。私たち今後何をすべきか、できるのか、そういったことを今後考えていきたいです
- ・建設業が慢性的に人手不足であることは知っていましたが、思っていた以上に高齢の従業員が多く、今後ますます厳しい状況になっていく危機感を覚えました
- ・現実を知ることである程度と考え、行動していかなければならないと感じました
- ・若年者の離職理由やメンタルの部分が今後弊社の若手社員へフォローに役立つと思いました
- ・モチベーションの在り方で何でも乗り切ることができそうだと思います

【若者講習会で行ってほしい講演のテーマ】

- ・様々な経営者の目線からみる、今後の建設業について聞いてみたい
- ・若い人のコミュニケーション能力の向上
- ・建設業界の先行きについてもっと詳しくやってほしい

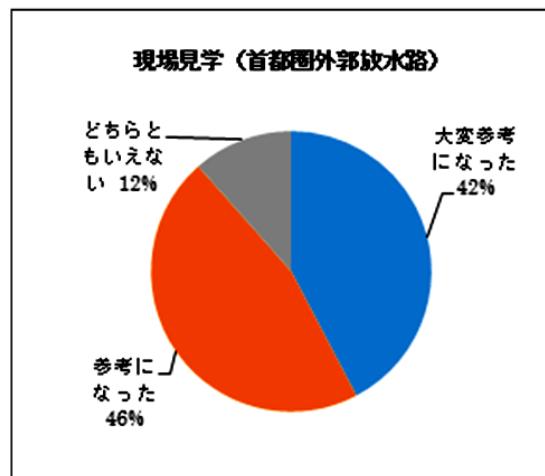
若者講習会アンケート結果

- ・積算の仕方のテーマで講習を希望
- ・社内いじめや社内の役割など

2. 現場見学について

■Q4 首都圏外郭放水路の現場見学は、皆さまがこれから仕事に携わる上での参考になりましたか？

大変参考になった	参考になった	どちらともいえない	参考にならなかった
11	12	3	0



■Q5 その理由や、今後実施してほしい現場見学などがあればお書きください。

【理由】

- ・水路において、自身の知識が全然なかったので、大変勉強になった
- ・普段見ることができないものだったので勉強になりました
- ・コンクリートの巨大構造物を間近で見る貴重な機会でした
- ・コンクリート関係の仕事なので、構造や仕組みなど理解できて良かった
- ・放水路の仕組みなどを簡単な例でわかりやすく説明してくださったから
- ・雨での川の増水を調整して町を守っているのはすごいと思った
- ・スケールが大きくてとてもびっくりした
- ・導水に興味をもっていたので、仕組みだけでなく規模も体感できたことがありがたいと思いました

- ・あまり見れないものを見れたこと
- ・工事事務の仕事をしています。展示に興味深く、工種は違えど、こういった施設を作ることが生活の支えとなっているのだとあらためて感じました
- ・施設の機能などは勉強になったが、施工法や建物の概要なども知りたかったです
- ・事務職で女性だと、めったに現場を見る機会が得られないので大変参考になりました。今後も大きい現場を見てみたいです
- ・このような施設があることをまったく知らなかったのもっと多くの人に知ってもらい、建設業の役割の大きさを広められれば色々良い方向にいくと思いました
- ・知らない設備もまだまだたくさんあると思うので、現場を見ることの大切さをあらためて感じました
- ・普段この規模のものを見るのがあまりないので参考になりました

【今後実施してほしい現場見学】

- ・作業中の大型建設現場
- ・圏央道や第二東名などの道路構築現場を見てみたいです
- ・大手ゼネコン等で新工法を取り入れている現場があれば参考までに見学してみたい
- ・製造工場など
- ・都市土木関係の見学

3. そのほか

■Q6 夢協若者講習会に参加した感想をご自由にお書きください。

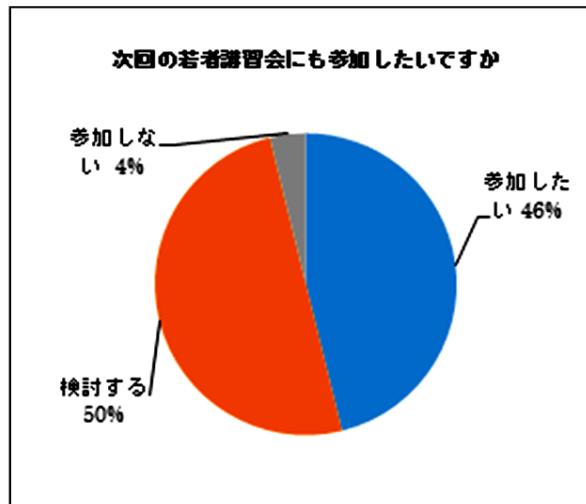
- ・自身のスキルアップに大変繋がりました
- ・後輩にも参加してほしい講習会でした
- ・建設業の直近の課題を詳しく知ることができただけでなく、同業の同じ世代の人たちの意見と共に共有できたことはとても良かった
- ・今後どうしたら業界が上手くいくのか、みんなで意見を出し合うにはいい機会だと感じた
- ・オリンピック選手の話など中々聞く機会は無かったのでとても良かった
- ・勉強になりました
- ・良かった
- ・本日はありがとうございました。冒頭で各社自己紹介等の枠があればと思います
- ・待ち時間が多かった、グループ形式等にしてコミュニケーションを増やすなどがあると良かったかも
- ・建設業における未来への憂いを解消する一助 lựcになりたいと感じました

若者講習会アンケート結果

- ・いまの建設業の現状を知ることができて良かったと思う
- ・建設の状況などをあらためて詳しく知ることができた
- ・普段入ることのできない所を見学できて勉強になった
- ・このような機会に参加できて良かったと思います。講習の修了証があると思出すことが多くなるかもしれません。本日はどうもありがとうございました
- ・初めてこういった講習に参加しましたが、国交省の方々のお話や講師の方のお話はとても参考になりました
- ・自分が勤務する専門工事業者の中では特に同世代の仲間が少ないので、貴重な交流ができたと思います
- ・普段話をしないようないろいろな方とお話することができたので良かったです
- ・他社の方々と関わる機会がほとんどないので、良い経験になりました
- ・建設業界や自社の業界の今後を考える良い機会になりました
- ・若い人のことを考えてくれているのがとてもよくわかった

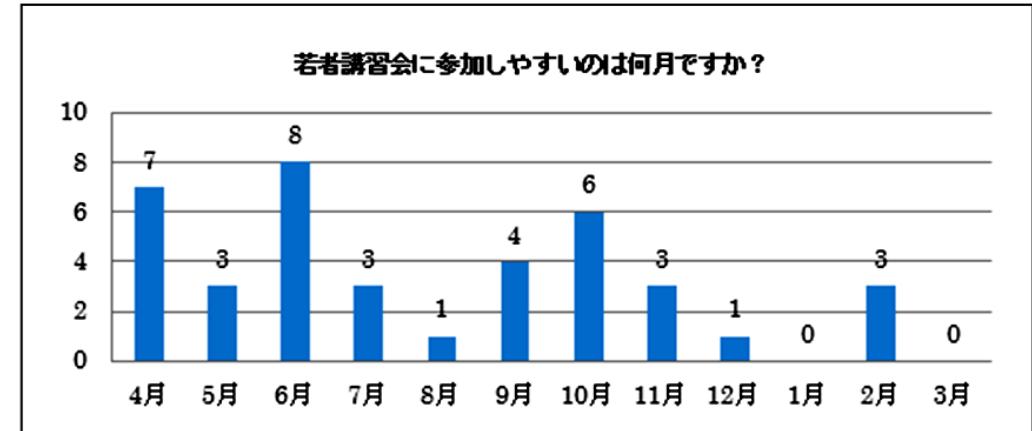
■Q7 次回の夢協若者講習会にも参加したいですか。

参加したい	検討する	参加しない
12	13	1



■Q8 夢協若者講習会に参加しやすいのは何月ですか。(複数回答可)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
7	3	8	3	1	4
10月	11月	12月	1月	2月	3月
6	3	1	0	3	0



■Q9 建設業を担う若い人材の不足が懸念されています。今後、より多くの若い方々に建設業へ入ってもらい、仕事を続けてもらうためには、何が必要だと思いますか。ご自由にお書きください。

【労働環境（賃金、福利厚生等）

- ・賃金の上昇
- ・給料 UP
- ・労働環境改善を、発注者・受注者が一体となら行わないと、今後は、若い人材は増加することは難しいと思う
- ・仕事場の環境の改善が必要だと思います
- ・就労環境の向上、改善（賃金、休日、技能伝承）
- ・福利厚生等の充実等が大切だと思います
- ・高給料
- ・働きやすい環境
- ・雇用する側の労務と所得の確保
- ・仕事環境をより良く
- ・安定した収入の確保、労務単価の上下が多い
- ・福利厚生充実（有休等）
- ・賃金の増加
- ・まず正直に、知人や同職から良く聞く賃金の安さの問題が多く聞くので賃金の底上げだと思います
- ・賃金の底上げ

若者講習会アンケート結果

- ・現場の土日祝、休日化
- ・建設業だけの最低賃金等を高めに決めていくこと、すべて上の方の人たちのための売上にならないようにする
- ・賃金 up
- ・プライベートの時間のとりにくい環境などがやわらかくなるようになれば良いと思います

【教育】

- ・若い人にはまずやりたいことをやらせてみたり等、若者に少しは合わせた業務を考えてみると良いかなと思いました

【将来性】

- ・若い方々の夢と熱意
- ・安定した仕事量
- ・若者から見て、夢のある仕事

【イメージアップ】

- ・自社のアピール、建設業が嫌という固定概念の除去
- ・パソコン・タブレットなどが増え情報が多くなった今、建設業に魅力を感じないイメージがある。特典を付けるより、魅力が強くなったら良いと思う
- ・現場見学をもっと実施すること
- ・女性の入職に関して、女性でも活躍できるというアピールをして建設業=男性のイメージが変われば、希望者が増えるのかなと感じました
- ・若い人を筆頭に、CMを流したり、建設業には若い人もたくさん働いていて、きつい仕事ばかりではない、清潔感がある、といったイメージを持ってもらえるようにすることが必要だと思います
- ・建設業のイメージがどうしても若い人には良くないと思うので、もっと建設業を知ってもらう機会を設ける必要があると思います

【その他】

- ・本講習のように、建設業に理解を深めることをねらった試みをさらに規模を大きくして行うこともまた必要になると思います
- ・離職の原因の一つに、若い人にとって、職場に同世代の人が少ないこともあると思います。短期的に、単年で新卒採用をせず、継続して採用していくことも必要と考えます
- ・賃金、休日、3Kの払拭など様々な改善すべき点があると思いますが、まずは企業が若年者雇用を積極的に行おうとすることが重要だと思います
- ・すぐに現場に出して先輩職人に教育を任せるのではなく、現場入場前に新入社員研修など、しっかりとした受け入れ体制を整えなければ、すぐに辞めてしまうと思います

4. 参加者属性

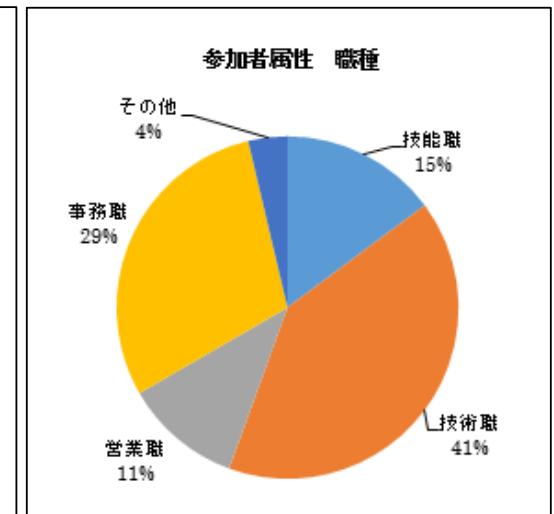
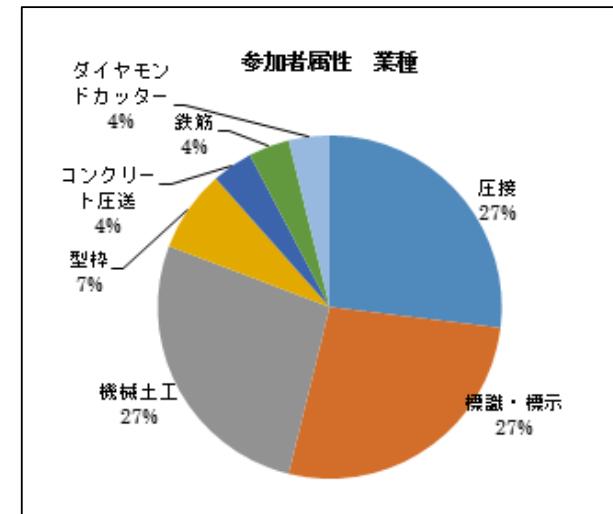
【業種】

業種	圧接	標識・標示	機械土工	型枠
	7	7	7	2
コンクリート圧送		鉄筋	ダイヤモンドカッター	
	1	1	1	

【職種】

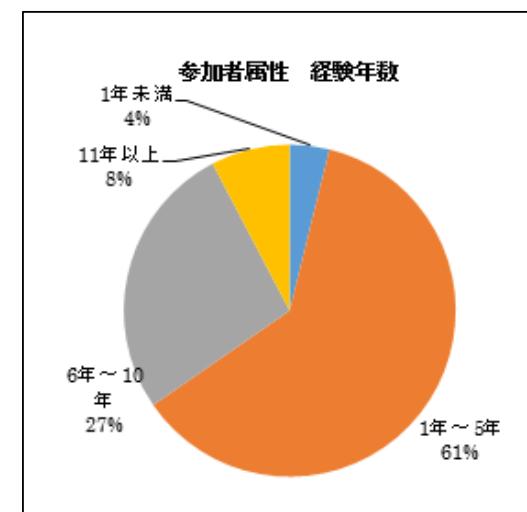
職種	技能職	技術職	営業職	事務職	その他
	4	11	3	8	1

※複数の職種を選択した方がいるため合計数値が合っていない



【経験年数】

経験年数	1年未満	1年～5年	6年～10年	11年以上
	1	16	7	2

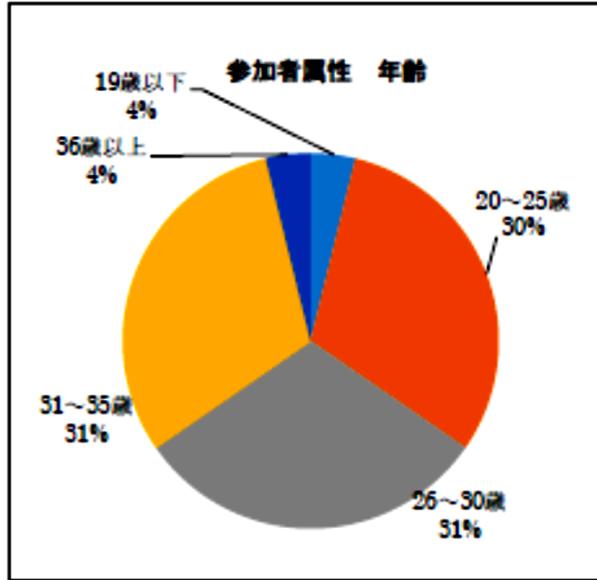


若者講習会アンケート結果

夢協若者講習会 アンケート

【年齢】

19歳以下	20～25歳	26～30歳	31～35歳	36歳以上
1	8	8	8	1



以上

若手技能者定着へ 夢協が講習会開く

専門工事業に入職した若手技能者の定着を促す



首都圏外郭放水路を見学

ため、関東圏専門工事業「協会」夢協、向井敏雄会
担い手確保・育成推進協「長」が夢協若者講習会」

を10日に開いた。約80人が参加し、あつためて建設業の役割を学ぶとともに、若手向士が将来の目標や夢を語り合った。機械土工や配管、圧接、コンクリート圧送、鉄筋、標識・標示業などに携わる若手技

能者が集合。国土交通省関東地方整備局の担当官から建設業の現状や国の施策の説明を受けたほか、首都圏外郭放水路の調圧水槽を見学し、災害防止などに貢献できる建設業のやりがいなどを再認識した。また、元競輪選手でシドニー五輪銀メダリストの長塚智広が講演し、「チャレンジすること

が大事。あきらめず、前向きな気持ちで仕事に臨んでほしい」などと訴えた。若者講習会は関東地方整備局管内で初めての試み。若手技能者がお互いの夢や悩みを共有する場を設けることで、建設業への定着を促す狙いがある。冒頭あいさつした向井会長は、「しっかりと根を下ろして仕事に取り組めば、将来の夢や希望が描けるようになる」と日々の心構えの大切さを

次世代火力発電EXPO 7月4日に説明会

リードエグジビションジャパン(新宿区)は、低炭素社会実現に向けて注目が集まる次世代火力発電システムの専門展示会「第一回次世代火力発電EXPO」(共催・火力原子力発電技術協会)を2017年3月11～13日の3日間、東京ビッグサイトで開催する。出展

リードエグジビションジャパン(新宿区)は、低炭素社会実現に向けて注目が集まる次世代火力発電システムの専門展示会「第一回次世代火力発電EXPO」(共催・火力原子力発電技術協会)を2017年3月11～13日の3日間、東京ビッグサイトで開催する。出展

「自分の能力を高め、報酬を高める努力を続けてほしい」とエールを送った。

JIA日本建築
3月3日

職長講習会の開催結果等について……資料4

「定着促進」については、若年者だけでなく、現場で若年者を指導する立場の職長や熟練技能者にも若年者の気持ちに寄り添えるように若年者がどう考えているか等についての講習会を開催する必要がある。

このため、若手技能者の定着促進に向けたコミュニケーションの向上などをテーマとした「夢協職長講習会」を開催した。

講習内容としては、玉川大学経営学部国際経営学科 大木教授から「若手社員の採用・育成・定着～ワークモチベーション理論から考える～」と題して、モチベーションアップに関する講義をいただいた。

その後、グループ討議において各社の現状や取組みに関する意見を交換した。

【開催時期・時間】 平成28年7月14日(木)

【開催場所】 ホテルラングウッド日暮里

【参加者】 職長又は現場の管理業務を行っている者

【参加人数】 20人程度

【講習内容】

- 開会挨拶 関東圏専門工事業担い手確保育成推進協議会会長 向井 敏雄
- 来賓挨拶 国土交通省 関東地方整備局建政部建設産業調整官 須田 健介 様
- 講演 「若手社員の採用・育成・定着～ワークモチベーション理論から考える～」
- 講師 玉川大学 経営学部国際経営学部 教授 大木 栄一 様
- グループ討議
 - ・若者との係わり方について問題点・課題の洗い出し
 - ・若者とのコミュニケーション
 - ・職場の雰囲気作り
 - ・技術の伝承・伝え方
 - ・ジェネレーションギャップ
 - ・若者の相談相手になるために

職長講習会風景



職長講習会のアンケート結果について

夢協職長講習会 アンケート

夢協職長講習会 アンケート

関東圏専門工事業担い手確保・育成推進協議会（夢協）

平成 28 年 夢協職長講習会 アンケート結果

- 名称 平成 28 年夢協職長講習会
- 開催日 2016 年 7 月 14 日（木）
- 参加人数 14 人
- 回答人数 14 人（回答率 100%）

■□■ アンケート結果 ■□■

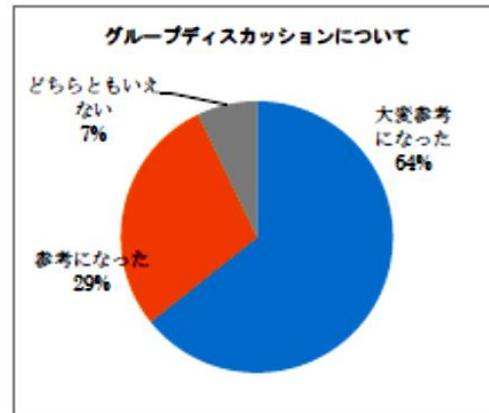
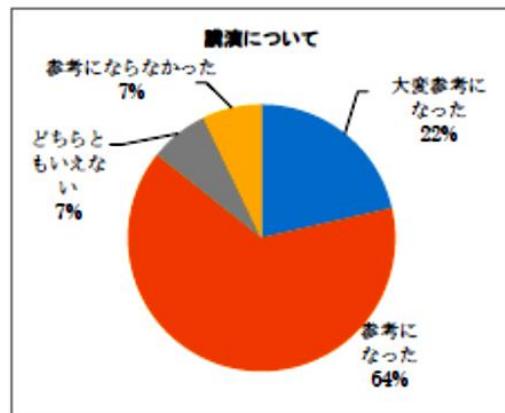
1. 講演・グループディスカッションについて

■Q1 講演は、皆さまが若手の教育・育成等に携わる上での参考になりましたか？

大変参考になった	参考になった	どちらともいえない	参考にならなかった
3	9	1	1

■Q2 グループディスカッションは、皆さまが若手の教育・育成等に携わる上での参考になりましたか？

大変参考になった	参考になった	どちらともいえない	参考にならなかった
9	4	1	0



■Q3 講演、ディスカッションを通じて、若者に対するイメージはどのように変わりましたか。

- ・皆が私と同じ悩みを持ち、解決策を持っていなかった。自分だけじゃない、みんなが同じことを悩み、そして頑張っている。そこは共感できた
- ・若者に対する思いは変わらない
- ・今の若者に対するイメージがわかりました
- ・育てるのが増々厳しい状況
- ・一人ひとり丁寧に対応していきたい
- ・どこの会社も同じ問題を抱えていると思いました
- ・自分の時とは違い、お金だけではなく時間が大切。時代の違い
- ・悩みはどこも同じだと思った
- ・各社とも同じような悩みを抱えているのがわかった

■Q4 今後、社内等の若手と接する際に、気を付けたり、変えたいと考えた点がありましたか。

- ・仕事によって若手の育成、コミュニケーションの取り方も変わってくる。個人をよく見て、コミュニケーションを取りたい
- ・とにかく話すこと
- ・こちらか話しかけてあげることが大事だと感じました
- ・積極的に話を聞くようにしようと思う
- ・こちらからある程度の節度を持って声掛けをしてあげるべきだと感じました
- ・こちらからコミュニケーションを取らないと会話ができない。手間と時間を掛けて育成する
- ・若手社員とのコミュニケーションを社内全体で行う。先々のワークプランを考える
- ・採用の仕方をもっと工夫したい
- ・時間、休日、お金、話し方
- ・会社での自分の立場がみんなに新●●ふるまっているので、みんなの役に立てたらいいい（※●●は判読不可）

職長講習会のアンケート結果について

夢協職長講習会 アンケート

夢協職長講習会 アンケート

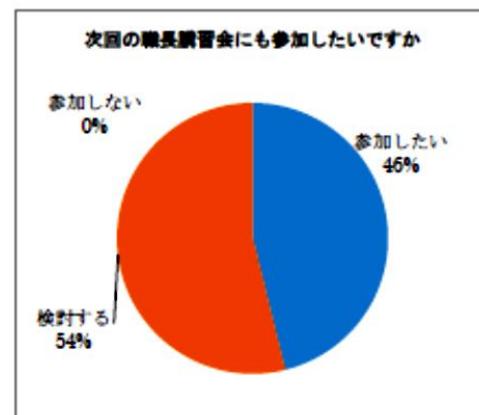
2. 夢協職長講習会について

■Q5 職長講習会に参加した感想をご自由にお書きください。

- ・なかなか答えが出ない問題で、これという解決策は出なかったが、皆様と話しができていい勉強になった
- ・おもしろかった
- ・各社さんが抱えている問題を聞くことができ大変参考になりました
- ・おもしろくまじめに参加できる
- ・生の声を聞いて良かったと思う
- ・他社の採用、取り組み等、参考になることがあったので検討したい
- ・いろいろと参考になりました。今後もこのような機会があれば出席したいです。
- ・もう少し具体的な内容で企画してもらおうと講習の趣旨がわかりやすくなるのではないしょうか
- ・有意義な時間でした
- ・いろいろな会社があり、それぞれに若手に対して対応を考えていらっしゃると思った。当社も頑張りたい
- ・建設業の魅力が伝わらない

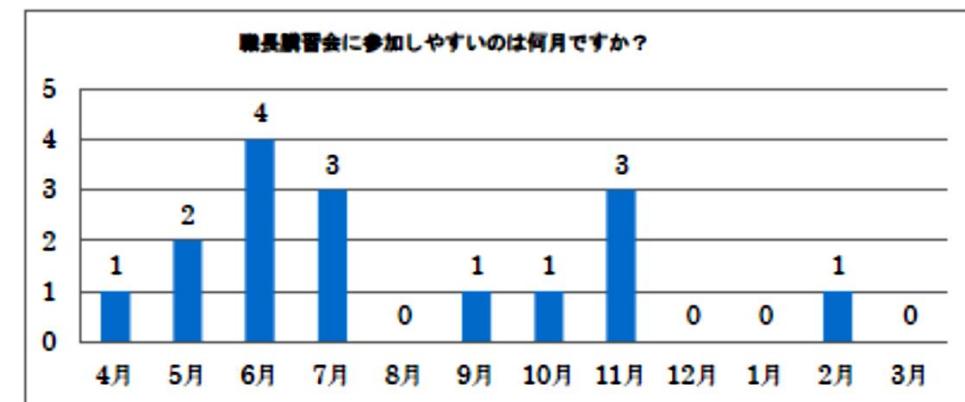
■Q6 次回の職長講習会にも参加したいですか。

参加したい	検討する	参加しない
6	7	0



■Q7 職長講習会に参加しやすいのは何月ですか。(複数回答可)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	2	4	3	0	1
10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	3	0	0	1	0

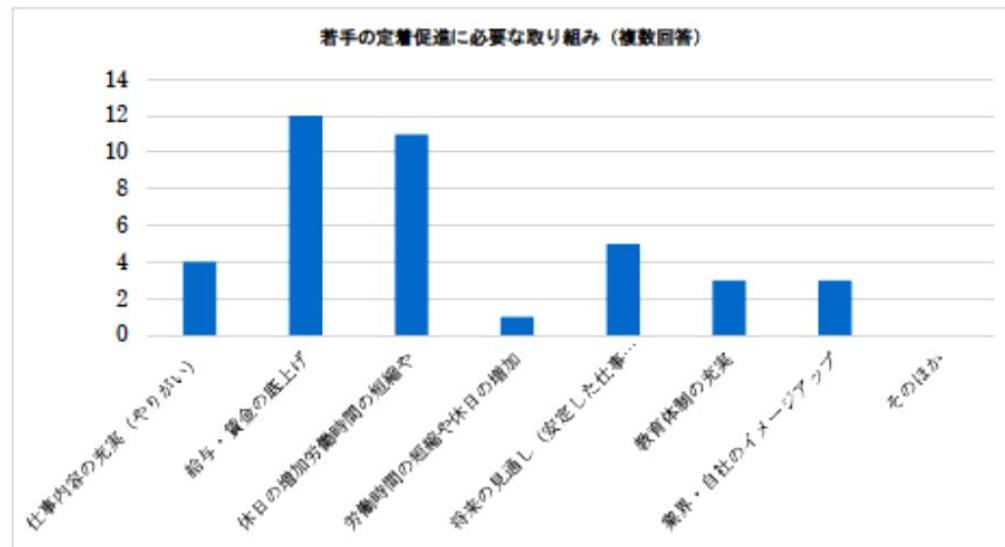


職長講習会のアンケート結果について

3. そのほか（若手の定着促進について）

■Q8 建設業の人材不足が懸念される中で、若い人材の離職率の高さが問題となっています。若手の定着促進のために必要と考える取り組みは何ですか（複数回答可）。

仕事内容の充実 (やりがい)	給与・賃金の底上げ	労働時間の短縮や 休日の増加	社会保険などの整備
4	12	11	1
将来の見通し（安定 した仕事量・雇用）	教育体制の充実	業界・自社のイメー ジアップ	そのほか
5	3	3	0



■Q9 Q8について、現状の自社・業界の問題点や課題は何ですか。

- ・今の建設業に魅力がない、きつい
- ・採用の対象範囲を広げて多くの学校を訪問する
- ・週休2日の確立
- ・人材の確保
- ・休みが少ない、勤務時間が長い
- ・時間、お金
- ・仕事によって休みの取れる現場と取れない現場があって調整が難しい
- ・賃金の底上げ、仕事の力量に応じた給与アップ
- ・求人をどう増やすか

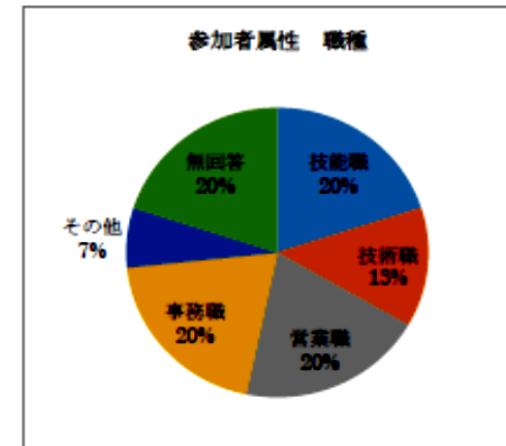
- ・コミュニケーション不足
- ・ガテン系のノリについてこれない。お酒・コーヒーを飲まない

4. 参加者属性

【職種】

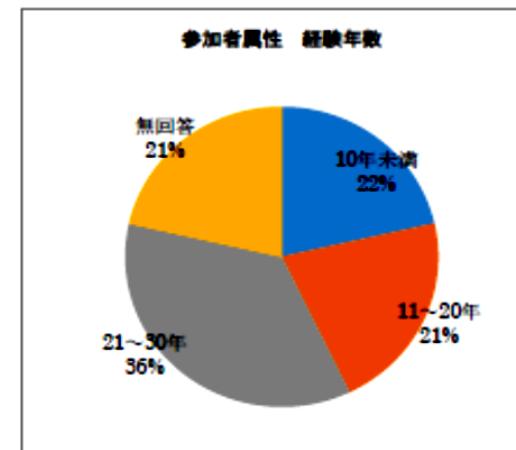
技能職	技術職	営業職	事務職	その他	無回答
3	2	3	3	1	3

※複数の職種を選択した方がいるため合計数値が一致していません



【経験年数】

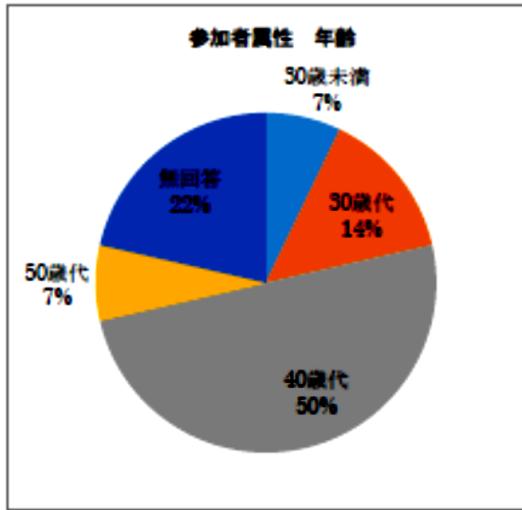
10年未満	11年～20年	21年～30年	無回答
3	3	5	3



職長講習会のアンケート結果について

夢協職長講習会 アンケート

30歳未満	30歳代	40歳代	50歳代	無回答
1	2	7	1	3



以上

夢協

若手定着の有効策探る 職長講習会開く

専門工事業の職長や管理者を対象とした「夢協職長講習会」を、関東圏専門工事業担い手確保・育成推進協議会（夢協）向井敢雄会長）が14日に開いた。若手技能者の定着促進に向けたコミュニケーションの向上などが



テーマ。モチベーションアップに関する講義を行うとともに、グループ討議を通じて各社の現状や取り組みについて意見交換した。写真。

機械土工や塗装、躯体、コンクリート圧送、タイル、室内工事、機械・標示業などに携わる職長や

管理者など約20人が参加。コーディネーターを務めた玉川大学の大本栄一教授は、若手の職業観などを説明した上で、採用・定着には①土曜日を休日にする②若手社員の話を積極的に聞く③「燃費力」を向上させること④若手の仕事を承認し、責任を与えることが重要と話した。特に土曜日の休業については、「建設業界全体で取り組む時期ではないか」と提案した。

グループ討議では、探用や若手教育について各社の現状などを意見交換。「自分から話さない

若者が多い」「怒り方に工夫が必要」「不規則な勤務時間が課題」などの意見が出された。

職長講習会は、昨年8月にスタートした夢協のメインの取り組みの一つ。

向井会長は、「人を育て、正しく評価し、適材適所に配置し、活躍できるステージを用意することが必要」と述べ、これらを目指す職長や管理者への期待を表した。

日建経

技術フォーラム2016

11事例を表彰

日本建設業経営協会（敬称略）（日建経、原真一会長）は、千代田区の千代田放送会館で「日建経会員技術フォーラム2016」を開いた。会場には、会員企業の技術者ら171人が参加。発表があった30事例のうち、生産性向上

▽旅客流動部における屋根改良（膜屋根化）について「譜久里蕨（東鉄工業）▽既存地下躯体を活用した市街地店舗ビル設計・施工事例―相澤勇人・石井宏・立橋宣隆

建設労働者緊急育成支援事業の報告について……資料5

建設労働者緊急育成支援事業の平成27年度の訓練実績 及び平成28年度の訓練計画

1. 平成27年度の訓練実績(関東建専連)

第1回「とび・土工コース」平成27年11月2日～12月24日(43日)

- ① 訓練場所: 静岡県建設学院
- ② 訓練人員: 8名(途中退校1名) 20代=7名、30代=0名、40代=1名
- ③ 就職数: 7名(就職率:100%) * 途中退校者を除く。

第2回「鉄筋・多能工コース」平成28年2月1日～3月24日(43日)

- ① 訓練場所: 静岡県建設学院
- ② 訓練人員: 応募者が2名であり中止。建設機械オペレーターコースに編入

2. 平成27年度の訓練実績(17拠点の実績)

	コース数	定員	受講者数	修了率	就職率
目標	—	—	600人	60% (360人)	修了者の70% (252人)
実績	53	704人	556人	96.9% (539人)	(注)

(注)就職者・就職率については、厚生労働省が訓練修了3か月以後の実績を公表(平成28年8月頃)することになっている。

3. 平成28年度の訓練計画(関東建専連)

(1) コース名:「建設多能工コース」主に躯体系及び仕上げ系の職種

第1回	平成28年5月30日～7月21日(43日)
第2回	平成28年8月22日～10月13日(42日)
第3回	平成28年10月31日～12月22日(43日)
第4回	平成29年1月30日～3月23日(43日)

(2) 訓練場所: 静岡県建設学院又はその他の訓練施設・実習施設

(3) 募集予定: 15名

(4) その他

- ① 訓練職種及び訓練施設については、建設産業専門団体関東地区連合会の会員の要望により検討いたします。
- ② 訓練生についてはは、年齢制限はできませんが、極力若手の募集に努めます。社会人としてのマナー教育や労働関係法もカリキュラムに追加しました。

4. 平成28年度の事業目標(建設業振興基金)

- ① 予算規模 9.2億円(前年度 6億円)
- ② 受講者数 1,000人
- ③ 修了率 受講者の60%(600人)
- ④ 就職率 修了者の70%(420人)
- ⑤ 地方拠点 5か所程度を増設予定(22か所)

建設労働者緊急育成支援事業の報告について……資料5

建設労働者緊急育成支援事業の現状報告

平成28年8月5日

建設産業専門団体関東地区連合会
担当:野口

1 第1回目建設多能工コース(H28.5.30~7.21)

① 訓練生 4名

年齢構成	20歳以下 1名、 20歳~24歳 2名、40歳~44歳 1名
男女別	男性 3名、 女性 1名
前職	建設業 1名、 学生 2名、 医療事務 1名

② 修了後の動向

就職見込 4名

2 第2回目建設多能工コース(H28.8.22~10.13)

① 応募状況 12名(H28.8.22現在)

年齢構成	19歳以下 1名、20歳~24歳 2名、25歳~29歳 0名、 30歳~34歳 2名、35歳~39歳 2名、40歳~44歳 2名、 45歳~49歳 2名、50歳~54歳 1名
男女別	男性 11名 女性 1名
出身県	埼玉県 2名、東京都 3名、神奈川県 1名、静岡県 1名、 福井県 2名、愛知県 1名、広島県 1名、島根県 1名

② 就職支援

会社説明会 9月10日(土)~11日(日)及び9月17日(土)~18日(日)場所:静岡県建設学院

* ご参加頂ける会社数により追加・変更あります。

就職支援・相談 9月24日(土)~25日(日) 場所:ホテルnanvan焼津

* 頂いた求人は3か月有効です。

受講申込書

- 必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。
一般財団法人建設業振興基金 担当者:野口 FAX:03(6231)7251
- また、インターネットでも受付しています。
一般財団法人建設業振興基金ホームページ <http://www.kensetsu-kikin.or.jp/kunren/>

コース名	訓練期間	定員
建設多能エコース(第2回)	平成28年8月22日(月)～10月13日(木)	15名
建設多能エコース(第3回)	平成28年10月31日(月)～12月22日(木)	15名
建設多能エコース(第4回)	平成29年1月30日(月)～3月23日(木)	15名

応募日 平成 年 月 日

コース名		訓練期間	
建設多能エコース		平成28年8月22日～10月13日 <input type="checkbox"/>	平成28年10月31日～12月22日 <input type="checkbox"/>
		平成29年1月30日～3月23日 <input type="checkbox"/>	*ご希望するコースに☑印をご記入ください。
ふりがな		性別	生年月日
氏名		男・女	昭和・平成 年 月 日(歳)
現住所		電話番号	
〒	—	自宅	()
		携帯	()
対象者 (☑印をご記入ください。)	<input type="checkbox"/> 学校を卒業後、就職をしたことがない方 <input type="checkbox"/> 離職中で建設業を希望する方 <input type="checkbox"/> 建設業への転職を希望する方 <input type="checkbox"/> 定時制高等学校の生徒 <input type="checkbox"/> その他		
雇用保険受給の有無		有・無	
最近、受講した職業訓練がありましたらご記入ください。			
訓練コース名	平成 年 月 日	～平成 年 月 日	
訓練期間			
実施機関名			

*職業訓練中に雇用保険を受給される方は、事前にハローワークにご相談ください。
*頂いた個人情報は当基金並びに訓練関係機関で管理し、訓練後の管理、募集案内等の送付のみに使用し、公的機関(救急等)からの開示要請の場合を除き、承諾なく第三者に提供いたしません。
*求職者・求人者のそれぞれの条件により、就職に至らないこともあります。

建設業はキミの力をいま



待っている!



建設業は、ビルや学校を建てたり、橋をかけたり、道路やトンネルを造ったりして、私たちが住んでいる街の安全・安心を確保する人に役立つ素晴らしい仕事です。

建設多能エコース(43日間)

仕事で使える**14**の技能・資格取得～就職をサポートします

建設業で働くことは**カッコイイ**

訓練期間	第2回：平成28年8月22日～10月13日(申込締切：平成28年8月15日)
	第3回：平成28年10月31日～12月22日(申込締切：平成28年10月24日)
	第4回：平成29年1月30日～3月23日(申込締切：平成29年1月23日)
定員	各回15名
訓練施設	静岡県建設学院(静岡県藤枝市潮107-2) TEL054(644)2722
実習施設	株式会社扶桑工業(静岡県藤枝市横内800-15)・ キャタピラー教習所株式会社静岡教習センター(静岡県藤枝市水守2-1-2)
宿泊先	ホテルnanvan焼津(静岡県焼津市越後島360-3) TEL054(628)8835
その他	作業服、ヘルメット、安全靴などは貸与します。 ただし、訓練中の食事代は自己負担となります。

訓練費用無料!

まずはお気軽にお問い合わせください!!(受付時間9:00～17:00/土日祝日を除く。)

- 建設労働者緊急育成支援事業のことなら代表窓口へ
一般財団法人建設業振興基金(担当:由井、三宅) TEL03(5473)4589
- 「建設多能エコース」のことなら次の地方拠点窓口へ
建設産業専門団体関東地区連合会内 一般財団法人建設業振興基金(担当:野口) TEL03(6231)7251
東京都台東区東上野5-1-8 上野富士ビル9階 建設産業専門団体関東地区連合会内

建設業のしごと

建設業のしごとは、大きく分けると「土木」と「建築」に分かれ、しごとの内容には大きな違いがあります。建築工事は、住宅・学校・病院などの建物を建築する仕事です。また、土木工事は、道路や橋など、私たちが生活するために必要な施設を整備する仕事です。



コースの特徴

◆建設業に興味があっても具体的な仕事内容を知らない人がほとんどです。このコースでは、建設業の「仕事を知る」ところから学び、建設現場で活躍する「とび・型枠・鉄筋・重機土工・左官」などのさまざまな専門職種の仕事をひとつとおり体験し、就職につなげる職業訓練です。



◆合宿を通して、実際に建設現場への視察研修や実技訓練を経験し、仕事の全体像を理解した上で、希望する職種への就職を目指す第一歩となる職業訓練です。

すべて
無料！

職業訓
練費用

宿泊・
交通費

資格
取得費

* 食事代等は自己負担

取得できる資格

建設技能者をめざせ！！

- 技能講習
①小型移動式クレーン運転、②フォークリフト運転、③車両系建設機械(整地等用)運転、④車両系建設機械(解体用)運転、⑤高所作業車運転、⑥玉掛け
■特別教育
⑦自由研削用といし、⑧アーク溶接、⑨巻上げ機運転、⑩クレーン運転、⑪足場の組立て等作業
■安全衛生教育
⑫振動工具取扱作業、⑬刈払機取扱作業、⑭丸のこ等取扱作業従事者

訓練内容とカリキュラム・日数

訓練内容	初心者を対象に、とび・土工、鉄筋工、型わく工、左官の技能や建設機械の運転の基礎を学びます。
資格取得のための講習	<p>■技能講習 ①小型移動式クレーン(3日)、②フォークリフト(5日)、③建設機械(整地等用)(5日)、④建設機械(解体用)(1日)、⑤高所作業車運転(2日)、⑥玉掛け(2日)</p> <p>■特別教育・安全衛生教育 ⑦自由研削用といし(0.5日)、⑧アーク溶接(3日)、⑨巻上げ機運転(2日)、⑩クレーン運転(2日)、⑪足場組立等作業(1日)、⑫振動工具取扱(0.5日)、⑬刈払機取扱(0.5日)、⑭丸のこ等取扱(0.5日)</p> <p>()内は日数、計28日間</p>
資格取得以外の座学・実習講習	<p>・入校式、建設概論、社会人教育 ・くさび緊結式足場組立等 ・左官の基礎 ・建設現場視察研修</p> <p>・枠組み足場組立等 ・鉄筋の基礎・実習等 ・型枠の基礎 ・労働法の基礎、修了式 計15日間</p>

募集のあらまし

合宿方式でじっくり研修

対象者	①離転職者、②新卒者、③未就職卒業生、④定時制高校の生徒等
訓練施設	静岡県建設学院(静岡県藤枝市潮107-2) Tel.054-644-2722
訓練時間	8時00分～17時00分
宿泊先	ホテルnanvan(静岡県焼津市越後島360-3) Tel.054-628-8835
費用	無料(教材、作業服・安全靴は貸与、交通費(面談日・職業訓練の往復。ただし、公共交通機関を利用した場合に限る。))
自己負担	食事代。資格取得に係る証明写真。住民票交付の費用。

申込みから訓練まで

①申込	<p>・裏面の申込書でお申込みください。ホームページからもお申込みできます。</p> <p>・お申込みいただいた方には、東京での面談の参加をお願いいたします。</p> <p>・面談では、受講や就職の意欲を確認させていただきます(試験などはありません)。</p> <p>・また、訓練内容スケジュール、訓練施設などについて詳しくご説明します。</p> <p>・面談参加の交通費は後日、精算払でお支払いします。</p>
②面談	
③訓練開始	いよいよ職業訓練のスタートです！ 資格を取得し、就職へ！！

今後のスケジュール(案)について……資料7

- | | |
|---------------|--|
| 平成28年 9月 | ・第三回夢協開催 |
| 平成28年 10月～ 3月 | ・出前講座(神奈川県内工業高校) |
| 平成28年 11月～12月 | ・民間発注者団体・元請団体に対する要望活動
・夢協職長講習会実施 |
| 平成29年 2月 | ・社内行事の推進、女性の活躍、家族現場見学会の調査
・第四回夢協開催 |
| 未 定 | ・工業高校等の就職担当等の教員と会員企業採用担当との交流会の開催 |
| 平成29年 未定 | ・夢協若者講習会の開催
・夢協職長講習会の開催
・夢協出前講座の開催 |

民間発注者団体、元請団体への訪問要請について・・・参考資料1

○要望活動について

- ・民間発注者団体の選定について検討する。
- ・元請団体の選定について検討する。
- ・要望内容の作成について検討する。

参考：平成27年度に民間発注者団体・元請団体に対して要請した文書

民間発注者団体 へて

要 望 書

建設産業は、これまでにダンピング受注、若年者の入職の減少等により、持続可能性が危ぶまれる事態となっており、今後とも持続可能となるには、何より発注者のご理解とご協力が必要です。

建設業で働く技能労働者数は、直近のピークである平成9年に455万人でありましたが、長引く建設不況のなかで平成22年には331万人に減少し、それ以降人手不足がつづいております。また、就業者は55才以上が34%、29才以下が11%と高齢化の進行と若年者不足の加速化に加え、次世代への技能の継承が大きな課題になっております。この機会に、建設産業、とりわけ現場で直接施工に携わる専門工事業がこれまで社会資本整備の充実等を図ってきた実績をご理解いただくとともに、貴団体の会員企業による発注におかれましては、下記の点にご配慮いただきますようお願いいたします。

記

- － 社会保険の原資となる法定福利費の適正な計上
- － 施工歩掛等に基づいた技能者の適正な賃金水準の確保
- － 行き過ぎた重層下請の回避（日建連は原則2次以内を目標）
- － 短工期とならないような余裕を持った工期（休日の確保）
- － 安全を確保するために必要な経費の計上
- － 設計の合理化（適正な工程を確保し、適正な予算で積算）
- － 発注者の責務を明確にし、意志決定の迅速化

平成27年12月3日
関東圏専門工事業担い手確保・育成推進協議会
会長 向井敏雄

元請団体 へて

要 望 書

平素より、専門工事業界に対しましてご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。専門工事業界は、これまでにダンピング受注、若年者の入職の減少等により、持続可能性が危ぶまれる事態となっており、今後とも持続可能となるには、発注者とともに発注者より直接工事を請け負う元請で構成される総合工事業界のご理解とご協力も必要です。

ご周知のとおり、平成9年に455万人でありました建設技能労働者数は、長引く建設不況のなかで平成22年には331万人に減少し、現在も様々な現場で人手不足がつづいております。また就業者は55才以上が34%、29才以下が11%と高齢化の進行と若年者不足の加速化に加え、次世代への技能の継承が大きな課題になっております。この機会に、共に社会資本整備の充実等を担ってきた専門工事業界の実情について改めてご理解をいただくとともに、貴団体の会員企業による下請発注におかれましては、下記の点にご配慮いただきますようお願いいたします。

記

- － ダンピング受注の回避及びそのしわ寄せの回避
- － 重層下請を回避するため、技能者や資機材を抱え、見積能力及び施工能力のある専門工事業者への発注
- － 社会保険の原資となる法定福利費の適正な計上
- － 施工歩掛等に基づいた現場作業員や技能者の適正な賃金水準の確保
- － 短工期とならないような余裕を持った工期により、休日の確保
- － 安全を確保するために必要な経費の計上。
- － 元請下請契約の適正化を図る。

平成27年12月3日
関東圏専門工事業担い手確保・育成推進協議会
会長 向井敏雄

技能労働者の処遇改善に係るアンケート調査について……参考資料2

入職・定着促進のための社内行事・女性活躍に関するアンケート調査案

【入職促進】

■女性の活躍について

会員企業の女性採用・活用の取り組み状況などを調べることで、一層の女性の活躍につなげていく。アンケート調査では、関東建専連加盟団体傘下の会員企業に、女性の採用状況や配置状況などを聞く。

- ・女性社員数(全社員に占める割合)
- ・女性の配属先別人数
管理職、技能職、技術職、事務職、営業職、その他 ※選択式
- ・28年度の女性の採用人数(全採用人数に占める割合)
- ・女性の入職理由 ※自由記入
- ・女性の採用理由 ※自由記入

■給与体系などについて

「月給制」「完全週休二日制」への新卒者のニーズが高い状況を踏まえ、会員企業の給与体系や休日についての現状把握を行う。課題などを明らかにし、今後の取り組みに生かすための材料とする。

- ・給与体系
月給制、日給月給制、日給制、年俸制、そのほか ※選択式
※技能職、事務職など職種別に調査することも必要
- ・休日の規定
完全週休二日制、週休二日制、そのほか ※選択式＋自由記入
※技能職、事務職など職種別に調査することも必要

【定着促進】

社内行事の開催など、社員の定着を図るための取り組み状況を調べる。コミュニケーション促進のためのこうした活動の事例を広く集め、公開していくことで、他社の活動の参考にしてもらう。

- ・社内行事の実施状況
サークル活動、スポーツイベント(ボーリング大会)、食事会(バーベキューなど)、懇親会(忘年会等)、社員旅行、そのほか
- ・上記活動の実施内容 ※自由記入

出前講座の実施予定等について……参考資料3

①小中高等学校等への出前講座について

これまで、各地域の様々な建設業団体において、工業高校生をターゲットとした現場見学会が開催されてきた。

これにより建設産業への理解は一定程度進んできたものの、工業高校の進路担当教師などからヒアリングしたところ、工業高校へ進学する時点で既に生徒自身が方向性を決めていることが多いこと、工業高校では「技術者」を目指している生徒が多く、建設労働者の大部分を占める建設技能者を目指している生徒は少ないことなどが解っている。

こういったことから、夢協では、まずは生徒が自分の方向性を固める小中学校への魅力発信が必要と考え、その方法や内容について検討してきた。

○平成28年度より、墨田区内の小中学校に出前講座を実施していくため、ちらし「ネットワークニュース」を作成し、『墨田区学校支援ネットワーク事業』に掲載し各学校へ紹介したが、これまでのところ活動実績はない(平成28年9月6日(火)現在)。

このため、同事業が墨田区内の小中学校の教員の方々から選定していただけるよう、内容の見直し等について検討する。

また、墨田区内のみならず、同事業が広がるような方策について検討する。

昨年度、小中学校への出前講座の効果的実施について文部科学省に相談したところ、「すみだ教育研究所」を紹介されたため、本年度、墨田区の小中学校が使用する『墨田区学校支援ネットワーク事業』として出前講座シリーズの中の1つとして掲載していただいた。

※内容については次ページのとおり。

②工業高校等への出前講座について

○この他、以下について実施・実施予定

・H28年度においても、(一社)日本クレーン建設業協会神奈川支部が神奈川県内の工業高校等において実施する出前講座を積極的に協力する。

墨田区内で実施する予定の出前講座内容(別紙1)

学校支援

ネットワークニュース

No.304

9キャリア 58

墨田区教育委員会
すみだ教育研究所
学校支援ネットワーク本部
☎ 03-5608-1303

「身近な公共物や建設産業について知ろう！」

～ 修学旅行や遠足などの学習に関連して ～

社会 地域理解 総合(キャリア)

- (1) ねらい
- ① 普段歩いている道路、堤防などについて、興味や関心を持ち、それらを作る仕事に関わっている人々の活躍や技術・技能のすばらしさについて考えられるようにする。
 - ② 道路や堤防等のインフラが、人々の安全・安心な生活を支えていること、また、いかに防災に寄与しているか、災害が起こった時の建設業の活躍について学ぶ。
 - ③ 地域を守る仕事の意義を学び、自分の将来について考えるきっかけとする。

修学旅行や遠足などの学習に関連して

- ・日本の伝統的な寺社等の建築物に活用されている技術・技能等の見どころと、当該建築物が建造された背景や歴史、慣習等を学ぶ。
- ・修学旅行や遠足の際、その地域のインフラを見て、その役割について考える。

- (2) 対象
- ・小学3年～中学生
 - ・地域・保護者の方にもご案内をお願いします。
- (3) 講師
- 関東圏専門工事業担い手確保・育成推進協議会
(専門工事業者、国土交通省の担当者他)
- (4) 形式
- ・所要時間 1～2単位時間 (土曜授業可)
 - ・クラス単位、複数クラス合同も可

(5) 内容

- 座学関係…1単位時間
 - ・建設業の仕事をしろう
 - ・高速道路、身近な道路の役割
 - ・みんなを守る堤防について
 - ・「防災」について考えよう
 - ・わたしたちの町を守る仕事
- 技術・技能の紹介…1単位時間
 - ・建設機械 PC 機等による模擬作業
 - ・左官によるこて塗り
 - ・鉄筋組み立ての技 ・その他



▲ 関東・東北豪雨の急復旧工事

※インフラの説明と建設業の技術・技能の紹介を考えています。

- (6) 費用 「無料」
事後に、生徒からの感想と先生からのご指摘等をご提出願います。
終了後、児童・生徒からの「感想文」を送っていただきますようお願いいたします。
- (7) 申込み **外部人材派遣申込書** 実施日2ヶ月前 ⇒ 学校支援ネットワーク本部へ送付
詳細の打ち合わせは、講師の方と学校担当者で行ってください。
※修学旅行・遠足で活用する場合は、旅行の1ヶ月前くらいまで申し込みください。

キャリアプラン計画(機械土工編).....参考資料4

若年者は、就職するに当たり、自分の生涯設計を想定していることが多いことから、入職何年目で給与がいくらぐらいで、どれ位の地位に就いていると想定できるようなキャリアアップのプランについて、あらかじめ示しておくことが必要である。それを達成するには資格取得などのハードルもあるわけであり、結婚して家族を持つことも想定するものであり、そういったことがイメージできるようにしておくことは、入職促進にも定着促進にも必要である。昨年度は、「機械土工」の職種について検討した。本年度は、他業種について、紹介、作成できるキャリアアップ計画について検討する。

参考：キャリアアップ計画【機械土工編】



技術
社員

オペレーターの一日

現場詰所で本日の作業配置と作業内容の確認など。内容の説明が入ります。



AM

Start!

朝



8:00

業務開始



10:00

休憩



11:30

工程打合せ



12:00

お昼休憩



13:00

作業再開



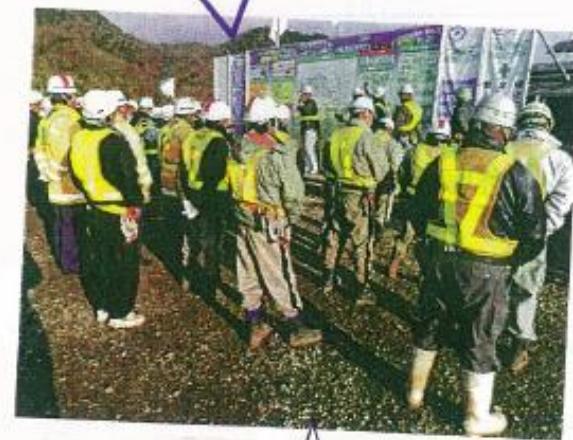
15:00

休憩



17:00

業務終了



朝礼、案線確認など。内容の説明が入ります。内容の説明が入ります。



施工計画・施工方法についての打合せ。内容の説明が入ります。内容の説明が入ります。



午後の作業開始。内容の説明が入ります。内容の説明が入ります。



持ち場の清掃や後片付け。内容の説明が入ります。内容の説明が入ります。

Good job today!!



お昼の過ごし方など。お昼の過ごし方など。

